

令和3年度

# 北信越総体の総括

公益財団法人全国高等学校体育連盟

1	企画運営について	1
	2) 参加申込	2-3
	3) 広報	4
	5) 大会ハンドブック	5
	6) 高校生活動	6
	7) インハイTV	7-9
	8) その他企画・運営全般について	10-11
2	総合開会式について	12
	1) 企画・運営	13-14
	2) 会場	15
	3) 総合開会式の輸送	16
	4) 式典・演技について	17
	5) 他、総合開会式について自由意見	18
3	競技大会について	19-27
4	配宿等競技以外の部分について	28
	1) 配宿センターの対応について	29-31
	2) 配宿申込方法について	32-33
	3) 宿舎の食事について	34-36
	4) 弁当について	37-38
	5) 料金について	39-41
	6) 宿舎について	42-46
5	新型コロナウイルス感染症関係について	47-61

# 1 企画・運営について

## 2) 参加申込

- ① 良かった [39]    ② 参加申込締切日を遅くして欲しい [12]  
③ 大会関係情報更新等はメール等で知らせて欲しい [12]    ④ 他 [2]

### ○自由意見

- ・ブロック予選のある競技は、〆切日まで余裕を持ちたい。申込様式を統一し、記入内容等簡略化したい。
- ・関東では、6月第2週末まで関東大会を実施しており、その後、全国総体の県代表決定が第4週末まで行われる競技もあるため、参加申込締切は6月末日もしくは7月に設定していただきたい。
- ・資格審査をスムーズに(各競技団体のデータと学校からの申し込みデータの違いがあった)(陸上)
- ・各都道府県の予選に差がありすぎて、大変だと思いますが、予選終了後、3日では厳しいです(バレー男子)
- ・関東ブロック枠で出場した学校は、申込が決定した翌日には書類を仕上げないとならないという日程はかなり厳しいものがあつた(卓球男子)
- ・日山協への選手登録は仕方の無い面があるが、手続きをもう少し迅速かつ簡略にして欲しい。加えてカード払いの場合、本部から領収書すら発行されないという点には疑問が残る。総体そのものの問題では無いが、出場にあたり登録が必須となるため、用途の明瞭化と共に、改善を講じて欲しい(登山女子)
- ・男子バスケットやバレーボール等、都予選の決勝から参加申込みの〆切がタイトであつた。1年前には予選会の日程を調整するため、〆切日を早々に周知するか、遅らせてほしい。
- ・特設サイトに随時アップデートされる形であつた。今年度はコロナ対策など重要な書類も含まれていたため参加校にリマインダーのメールがあるとさらに周知徹底できたと思う。
- ・都道府県高体連事務局の公印を省略してほしい。
- ・参加申込を遅くするのは難しいことは承知です。ただ、予選から締切までの期日が短いことは確かなので、少しでも猶予が欲しいところである。
- ・要項には明記されていたが、感染症の状況により変更される部分(緊急事態宣言下での参加)が有つたので、各県及び各チームに事前に分かりやすく通知して欲しい。
- ・HPだと見なければわからないので、情報はメールで欲しい。
- ・各競技会場では、高校生活動としての補助役員が丁寧に対応してくれてありがたかつた。
- ・今年は特にありがたかつた。スコアが常時表示されている競技もあり観やすかつた。
- ・随時更新されるコロナに係る変更など迅速に周知することが難しい。水泳はブロック予選終了の2日後正午が締め切りだつた。最低でも3日以上は必要。
- ・「参加料の入金を遅くしてほしい。」という意見あり。
- ・変更データの連絡不足(卓球)。
- ・生徒等への連絡のためこまめにチェックはしていたが、最新情報が更新されたら連絡があるとよりスムーズに連絡が取れると考える。
- ・入場制限→引率責任者の変更が大変であつた。
- ・毎回webを確認したが不安。
- ・申し込み書類のHPアップを早くしてほしい。
- ・全国高体連のHPと一元化。
- ・ブロック大会と申し込みが重なっている→締め切りに余裕が欲しい。
- ・県予選前には全国の要項があるとありがたい。
- ・開催期日が1か月も異なる中で、参加申込締切日がほぼ同時期なので配慮がほしい。大会1か月前頃の締切が適切ではないか。
- ・近畿地区予選終了後1週間以内にエントリーは厳しい。間違いも増える可能性有。(陸上競技)
- ・緊急事態宣言が出ている最中での予選会でしたので申込み期限を臨機応変に対応していただき大変助かりました。

- ・申込に関する新たな書式等が追加されたときにはメールか何かで連絡がほしい。(バレーボール)
- ・地区予選から日程的に厳しい種目もあったので、締め切り日に余裕があればよかった。
- ・練習場所の連絡等に気づかなかった。
- ・会計の適正の観点から、大会参加料は各校からの振り込みにしていただきたい。申込期限が差し迫っているの  
で、現状では委員長か監督が立て替えるしかなく、現金を預かるにして保管の問題、預かっても領収書が出せ  
ない、振込手数料の負担等、委員長がまとめて振り込むリスクが多い。
- ・参加校への連絡が委員長を介して、連絡することが多い。参加申込書にメールアドレスの記載があるので、申  
込以後の連絡は直接各校へメール配信してほしい。特に夏季休業中は毎日学校へいるわけではないので、連絡  
が遅れたり、連絡漏れが起こるリスクが高い。連絡漏れによる責任の問題もある。
- ・2年ぶりのインターハイで開催県は大変だったと思う。
- ・最終的な資料が多すぎて少し戸惑うこともありました。
- ・チームによっては四国選手権の結果も考慮して選手を決定したいという意見もある。(剣道)
- ・昨年度のインターハイが中止となり、宿泊手続きが複雑であったことを思い出した。(ウエイトリフティング)
- ・変更になった部分がアップされるだけで、チームへの周知がなかった。
- ・申込書に代表者のアドレス記入欄を作る方がよい。
- ・今年度は申し込みの期日が専門部によってかなり違っていたため、県事務局の取扱いに注意が必要であった。
- ・全中のように簡単だと尚よい(出場校監督)
- ・用紙の形式は問題ないと思われます。確認のために各都道府県高体連会長印が必要であると思いますが、時間  
のない中手続きを行っているため、確認印が必要であるならば、電子印への変更にならないか御検討いただ  
ければ幸いです。
- ・県総体延期開催などで、参加申込を柔軟に受けいただき感謝しています。

### 3) 広報

① 良かった [43]    ②改善余地あり [3]    ③ 他 [2]

#### ○自由意見

- ・無観客での開催ということもあり、あまりインターハイ開催という感じがしなかった（陸上競技）
- ・各開催県の実行委員会、専門部の情報について、HP にアップされる時期が異なり、情報を整理するのに苦慮した。
- ・コロナ禍で開催自体がはっきりされていない中、最大限の努力をされていたと思います（陸上）
- ・目に見えて、広報しているとは、感じなかった（バレー男子）
- ・視察者の制限等重要事項が HP の深いところで掲載されるにとどまり、気付きにくい所があった。HP の活用は必要であるが、重要な事項は更新状況をメールでも周知してほしい。
- ・スローガン等が伝わりやすかった。
- ・コロナ禍において広報活動は慎重のならざるを得ない中、とても良かった。
- ・何かと新聞に取り上げていただき、感謝しています。
- ・開催日程変更のアナウンス、広報の機能がもう少しほしい。
- ・コロナ禍ということもあり、広報については縮小傾向であったかと思います。福井駅に着いた時に、のぼり旗等も設置されておらず、総合案内所はありましたが、誰もおられず、少し寂しい感じがしました。
- ・HP を見ればいろいろと伝わってきていたので、そこは良かったと思う。
- ・観戦可能かどうかをもう少し早く周知徹底してほしかった。
- ・コロナウイルス感染症が収束してない中、もっと予防について周知するようできればよかったと思う。
- ・男子練習会場の案内が少ない。レンタカーで電話番号での検索をしたら、隣の建物に案内され、戸惑った。（体操）
- ・最寄り駅での広報は良かったと思いますが宿舎での関心のなさが引かかりました。

## 5) 大会ハンドブック

① 問題なし [43]    ② ダウンロード印刷の周知徹底して欲しい [9]

③ 他 [1]

### ○自由意見

- ・必要な部分のみ印刷できるから（陸上競技）。
- ・どのくらい活用されているか疑問がある。作成自体の見直しも必要ではないか。
- ・もう少し早く配布してほしい。
- ・「どれだけの需要があるのか、作成の必要があるのか検証が必要」、「無観客のため、必要性があったのかは検証が必要。」という意見あり。
- ・量が莫大で周知するのに難しかった。
- ・練習会場の電話番号が違っていた。（体操）

## 6) 高校生活動

① 感謝/良かった [46]    ② 改善余地あり [3]    ③ 他 [1]

### ○自由意見

- ・総合開会式を中心に地元の高校生たちの活動の場面が多く見られ感動した。
- ・コロナ禍の中、様々な場面で大会を支えていただき大変ありがとうございました。
- ・会場でのグラウンド整備等、猛暑・豪雨の中大変お世話になりました(ソフトボール)
- ・現実的には厳しいかと思いますが、主審を地元高校生にしてもらうのは心苦しいかと思いました。イン・アウト等の微妙な判断の時にはやはり判定が揺れてしまうことがありました。高校生なので致し方ないですし、それを担わせるのも酷かなと思ってしまいました(卓球男子)
- ・コロナ禍において生徒が手伝っている姿に感謝しました(登山)
- ・開催地の高校生に大変良くしていただきました。ありがとうございました(空手道)
- ・コロナ禍では必要最低限にすべきである。
- ・大会の補助役員はとても協力的に活動していた。また、監督・コーチ及び選手に対して配付された歓迎袋にメッセージ付きの品物が入っており勇気づけられた。
- ・献身的な協力体制があった。
- ・本県で開催した競技専門部からは「活動に参加した生徒の充実した様子が見られた」という意見あり。
- ・「活動をもっとメディアで発信すべき」という意見が複数。
- ・「活動を縮小する必要あり」「コロナ禍において、活動が必要なのか検討が必要」「生徒の負担が多すぎる」などの意見あり。
- ・大会前からPR活動など積極的な取り組みが見られた。
- ・総合開会式での活動内容の報告がとても印象的であり、良かったと思います。
- ・補助生徒の気持ちの良い態度。
- ・開会式で各県の様子をDVDで視聴したが、各県の状況に応じ、一生懸命取り組んでいてくれたと思います。開会式での演技も良かったと思います。
- ・応援動画メッセージやのぼり旗による選手一人ひとりへの応援コメントに選手たちは、喜んでおりました。(ホッケー)
- ・コロナ禍の中よく頑張ってくれた(ほとんどの専門部)
- ・活動に積極的に取り組む姿と心からの「おもてなし」に感動しました。
- ・総合開会式のビデオで拝見し、大変だったと思いますが、高校生の頑張りが大会開催につながったと感謝しています。ありがとうございました。
- ・コロナ禍で制限がある中、頑張っておられたと思います。ただ、全体会の日の福井駅で、何も活動がされていなかったのが残念でした。
- ・親切に対応してくれて感謝しています。
- ・心遣いありがとうございました。
- ・コロナウイルス感染症拡大の中よくサポートしていただいた。感謝しかない。
- ・大変気を使ってくれ、笑顔も最高の生徒さんたちでした。ありがとうございました。
- ・素晴らしかったです。
- ・きびきびとよく動いてくれていて、挨拶もよくできており、感心しました(剣道)
- ・コロナ禍で活動が制限されていた中で、大変よいおもてなしをしていただいて、感謝している
- ・サポートしてくれた高校生たちに感謝いたします。
- ・コロナ禍での大会運営となったので当初の計画よりは補助員を減らしたと思うが、もう少し少なくしていいのではと感じた。(フェンシング)
- ・コロナによる制限がある中、よく頑張ってくれていました。(空手道)
- ・感染症対策で高校生活動をあまり実感することができなかった。(ヨット)

## 7) インハイ TV

① 良かった [40]    ② 改善余地あり [15]    ③ 他 [1]

### ○自由意見

- ・チャンネルを切り替えた際、すぐに観たいのに、その都度スポンサーCMが入ること（陸上競技）。
- ・コロナ禍での実施であるため更に充実した情報提供が求められてくると思われる。
- ・競技によってはカメラの設置場所が悪くよく見えなかったり、不具合があり放映されない試合があったのは残念であった。
- ・前回大会よりも精度が上がっていて見やすかった。
- ・カメラワークや雨粒の拭き取り不足等で写りが悪かった種目もあった。
- ・現地激励が叶わなかったのも、活用させていただきました。
- ・オリンピックでテレビ中継がなかったこと。無観客で競技を観に行くことができない中、とてもよく中継していただきました。
- ・対戦チームがわからないので、間違えて異なる試合をひらいてしまうことが多かった（バレー女子）
- ・インハイ TV のお陰で、試合観戦ができて助かりました（ソフトテニス）
- ・無観客のため保護者や OB、学校関係者にも視聴していただくことができ、大変ありがたかったです（卓球男子）
- ・宣伝広告が毎回見るたびにるので、面倒（卓球女子）
- ・見逃し配信を早くして欲しい。コロナで対戦相手の試合を撮影出来なかったのも、インハイ TV だけが頼りだったため（ハンドボール）
- ・非常によい取り組みなので、次年度以降、会場で大きな画面で観れる形にしてもらえるとありがたい。（コロナ禍以前はスクリーン上映をしていた。）
- ・画像や配信方法について改善の余地あり。
- ・会場が3会場に分かれていたこともあり、監督も他会場の選手の様子が見られたことに対して、よかったという意見をいただいています。
- ・アーチェリーは的前と選手の様子の両方を同時に見れるようにしていただきたい。
- ・無観客という中で全国の方が視聴できる機会があることは素晴らしいと感じた。
- ・情報の更新や見逃し配信の開始が大変遅い。
- ・無観客の中での開催なので、保護者及び関係者に対しては大変ありがたかった。
- ・無観客ということで、全試合配信していただいたのはよかった。
- ・今年は特にありがたかった。スコアが常時表示されている競技もあり観やすかった。
- ・無観客開催が想定されるため、更なる改善が必要。例えば、対戦カードや得点状況がわからない競技が多い。
- ・全国選抜大会時の各競技ライブ配信の方が内容は充実していた。
- ・「無観客であり、非常に需要があった」「これからも必要である」との意見あり。また、「進行状況を見ながら宿舎で過ごすことができたので良かった。」という意見もあり。
- ・「映像の内容を充実させる必要がある。」「競技の一部分だけではなく、全体の映像もほしかった。」などの意見あり。
- ・カメラがプレーを追えていなかった。（ハンドボール）
- ・コート番号と行っている試合が分かるように（卓球）
- ・見られない時間があつた（空手）
- ・ゴールからスタートをアップして映しているのも、全体が見渡せないし、順位がどうなっているのかが分かりにくかった。（ボート）
- ・観客席の話し声を拾ってしまう。（バドミントン）
- ・無観客ということで例年よりもよりこの企画は有り難かった。保護者や関係者にも好評（新体操）
- ・スコアなど記録の詳細も知りたかったです（卓球・ソフトテニス）

- ・試合のインニングスコアは固定表示すると視聴者はわかりやすいと思います（ソフトボール）
- ・無観客での大会であり、保護者・大会関係者からは大変好評でした。お世話になりました。
- ・無観客でなくても会場に足を運べない方のために、各競技で撮影方法など視聴しやすい工夫を改善して欲しい。ただ流すだけの映像では意味がない。
- ・1ピストに一台のカメラは嬉しかった。他競技ではアーカイブが見られるものもあるが、フェンシングでは見られないのが残念です。
- ・試合後すぐに映像が見られない。
- ・柔道の階級、名前を載せてほしい。
- ・画質が悪く姿だけを映すため、状況や結果が分からない→人との映してほしい。
- ・得点時間の間違いシュートシーンなどが映っていない。
- ・無観客だったため、総合開会式や各競技の様子が見ることができて良かった。
- ・画角やスコア表示など、前回大会より質の高い配信になっていると感じた。
- ・保護者や応援に来れない生徒もリアルタイムで観ることができ良かった（なぎなた）
- ・無観客開催の中、画質も良く臨場感も伝わったと聞いています。ただ、故障があり一部観戦できなかった。（空手道）
- ・映像が視聴できないときが出ていたと聞きました。（バスケットボール）
- ・空撮など、専門部と連携をとって良い取材が出来ていた。（登山）
- ・少し映像が止まるが多かったように思います（バドミントン）
- ・操作方法が良くわからなかった。（カヌー）
- ・非常に良かった。特に、画面右横ツイッターの記事が実況中継代わりとなって非常に見やすかった。
- ・途中映像が止まることも多かった。（剣道）
- ・競技によっては、画面の表示ミスなどがあった。
- ・団体競技（バレー、ホッケー等）はチームや得点掲示も分かりやすく良かったのですが、ソフトテニス等の個人種目はコートの面数が多く、どこで誰が試合をしているのか全く分からず、改善が必要と思われます。
- ・無観客、激励無しということもあり、随時大会の状況を見ることができて大変良かった。種目によっては、対戦カードや点数が見れない種目もあったようですので、そこが改善できるとなお良いと思います。
- ・都合がつかず、拝見できておりません。
- ・固定カメラを置いておくだけでなく、いろんな状況を映してほしい。（特に予選ラウンドは何の変化もなく、見る人の興味を引けない。）
- ・得点経過を映して欲しい。
- ・保護者が観戦できない中、映像で共有することができて良かった。
- ・各種目ごとに予選等見ながら戦略等で振り返りたいので当日、再度再生できるようにしてほしい。にもかかわらず撮影禁止。
- ・無観客でしたので親が観戦でき良かった。
- ・大事なところでのフリーズ
- ・会場使用にカメラの設置が優先であり、選手第一でなかったのは残念。
- ・場所において、少し配信が入りにくかった。
- ・保護者が見に来られない中、よく映像を流していただいた。感謝しかない。
- ・途中で違う試合になったそうで、無観客なので、改善をしてほしい。
- ・学校で部員と観戦できたことが良かった。
- ・大会に出場できない選手や保護者もリアルタイムで各試合毎に視聴できるので非常に良かった。（柔道）
- ・観客席の近くで撮影されたため、観客の不適切な発言も放送されていたように思う。（ホッケー）
- ・ライブ配信以外で視聴できるようにしてほしい。（なぎなた）
- ・ライブ配信だけでなく、録画したものを Youtube 等で配信できないか。（フェンシング）
- ・撮影場所に問題あり。
- ・決勝戦がバッテリー切れで写らなかった。
- ・年々、配信が充実してきてると感じた。多くの人が視聴できるように広報活動が必要であると感じた。

- ・混線により十分に観戦できなかった（フリーズする）旨の意見多数。
- ・オンラインでの配信は密が防げるので非常に助かった。（ソフトテニス）
- ・無観客であったので特に保護者、OBから好評であった。
- ・無観客だったため、保護者を中心に好評な意見が多かった。（フェンシング）
- ・大会初日に通信状態が悪く、うつらない状況があり、複数の問い合わせがあった。（空手道）
- ・全試合配信のおかげで、入場できない保護者も喜んでた。（バドミントン）

## 8) その他企画・運営全般について

- ① 感謝/良かった [39]    ② 教員の負担軽減必要 [15]
- ③ 生徒の負担軽減必要 [8]    ④ 総文祭との兼合による負担 [0]
- ⑤ 開催期間短縮希望 [3]    ⑥ 競技開始日早すぎる [1]
- ⑦ 競技会場選定の改善余地あり [6]    ⑧ 競技別プログラム発送遅い [6]
- ⑩ 利用交通機関調査の方法検討希望 [8]    ⑪ 他 [3]

### ○自由意見

- ・競技会場まで公共交通機関を利用したが、通いにくかった（アーチェリー）。
- ・競技開始日が遅すぎる（夏休み終了後の開始となった）（アーチェリー）。
- ・オリンピックとの兼ね合いでの長期間の開催、コロナ対策、荒天等の対応と例年になく実行委員会の皆様のご苦労があったと思う。改めて感謝したい。
- ・利用交通機関調査については、より簡略化されることを希望します。
- ・毎年行われている利用交通機関調査だが、ほぼ変わらない内容を何回も調査せずに、前年度のブロックからの引き継ぎで対応いただくか、もしくは、監督代表者会議の場でアンケート実施するなど検討してほしい。各都道府県の競技委員長の負担が大きい。
- ・無観客にすることも大変なご判断であったと思います（陸上）
- ・今回は関東ブロック枠で出場、申込が決定した翌日には書類を仕上げないとならないという日程はかなり厳しいものがあった（卓球男子）
- ・参加校用の駐車場欲しい（卓球女子）
- ・会場と宿舎が遠い場所があった（レスリング）
- ・コロナで大変な中受け入れてくださり感謝している（テニス）
- ・入場制限が曖昧であった。
- ・通常に開催するだけでも負担は大きいと思いますが、男女分散開催上に感染症対策が加わり、開催権（新潟）の役員の方は拘束期間が長く大変だったと思う。感謝申し上げます。
- ・今年度は、コロナ禍での開催に加え、オリンピック・パラリンピックと時期が重なったこともあり、準備運営等で非常に苦労が多かったと思います。関係者の皆様には心から感謝申し上げます。
- ・毎年利用交通機関調査があるが、現地での移動手段についての情報が乏しい。バスの本数・運行間隔とか、タクシーの保有台数など。
- ・「教員と生徒の負担は大きい」「働き方化改革もあるのでもっと軽減が必要。」という意見が多く見られた。
- ・「引率者一人の場合、練習会場と競技会場が離れていると、選手の練習を見るができない。できるだけ、競技会場、あるいは競技会場の近くに練習会場があると良い。」という意見あり。
- ・「大会会場に駐車場がなかったため、皆さんが戸惑っていた。事前の告知が必要。」
- ・「専門部委員長が監督会議に出席、監督会議での配付資料が多く、各校の監督まで届けるのに苦労した。」、「無観客であったため、遅く会場入りしても、選手の待機場所が確保できた。」等という意見。
- ・今年はオリンピックがあったことから開催期日が遅くなっていますが、やはり、盆はさけたいというのが本音です。
- ・悪天候の際の開始時間の変更などの連絡が、役員に周知出来ていない点があり、迷惑をかけてしまった。
- ・無観客となったあとの対応がクリアであると、もっと良い。
- ・コロナ対策がより重要である
- ・受付業務では 早朝のため 大変申し訳ない気持ちで期間を過ごした。

- ・コロナ禍において様々な対応が求められる中、臨機応変な対応誠にありがとうございました。
- ・公共交通機関の限界、レンタカーを認めてほしい。
- ・感染対策に加え大雨による日程会場の変更等大変であり、運営者に感謝。
- ・オンラインや専用ラインで情報提供があり良かった。
- ・3年生（受験生）にとって遅い時期での開催で心配した。
- ・アップのスペース、機材がありスムーズであった。
- ・土足での体育館入館など配慮され、間隔を取られていた。
- ・前年の来県調査の必要性の検討。
- ・「競技記録結果サイト」において、トーナメント方式の競技におけるベスト4進出をかけた試合については「準々決勝」と表記を統一していただきたい。バレーボール、柔道、ホッケー、フェンシング（学校対抗）、空手道、なぎなたでは準々決勝が「〇回戦」と表記されており、入賞確認の際に分かりにくいと感じた。競技種目別大会実施要項の表記に倣っていると思われるが、このことは前回大会においても指摘があったので、要項の表記統一含め、改善に向けぜひ検討いただきたい。
- ・この状況下で開催していただき感謝しています。
- ・現地の生徒たちが非常に親切で、分からないことにも丁寧に答えてくださりました。ありがとうございました。
- ・コロナ禍で大変なお世話になりました。（弓道）
- ・ローカル私鉄で本数も限られ、編成も短いため輸送量調整が必要。配宿が決定しないと交通機関が決定できないので前年度調査の意味がない。（登山）
- ・感染症対策も加わり大変な開催を成功させていただき、本当に有難うございました。（少林寺）
- ・コロナ禍における大会開催には、様々なご意見があったことと思います。全国高体連、開催県実行委員会、開催県の県民の皆様から感謝いたします。
- ・コロナ禍の中、本当にお世話になりました。感謝いたします。競技別プログラムは、大変だとは思いますができるだけ早く送付願いたい。今年度については総合開会式に出かけているときに事務局へ届いているものもあり、既に競技が終了していました。開催期間が長くなればなるほど、五月雨式にプログラムが届くのではと思うと開催期間の短縮が必要だと思います。例年行っておられる、次年度開催ブロックの利用交通機関調査が必要かどうかは、検討していただきたい。
- ・おおむね良かったと思っております。ありがとうございました。
- ・今回、開催県より「公共交通機関をなるべく使わないで」とのお願いを頂きました。時期的に、おっしゃっていることの意図はわかるのですが、対応に苦慮しました。運転手付きのバスを手配していただけるのであればよいのですが、そんなことがあるはずもなく、あるのはレンタカーの斡旋ばかり。つまり、「教員にレンタカーを運転せよ」としか受け取ることができないのです。そんなことを言われて「ハイ分かりました」と言えるご時世でもありません。
- ・熱中症対策だと思われるが、お盆と重なる日程は正直きついです。
- ・コロナ渦と大雨で大変な中、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・コロナ等大変な中、熱心に運営され感謝しています。
- ・各県テントが「密」になっていたのではないかと、気になった。
- ・宿が遠すぎる。
- ・陸上競技は朝早くから夜遅くまで開催される。配宿に至っては遠方から会場に行かなければいけないチームがある。出来れば現在5日間開催を6日間開催にいただければ解消される。
- ・参加申込の領収書が、受付の時に渡される封筒に入っていなかった。後日、学校に郵送しますとの事でした。大会の成績の速報が出るのが、非常に遅かった。（体操）
- ・インターハイ前に実施したPCR検査の手間や費用が掛かりすぎている。
- ・競技プログラムについて、一部の競技は競技日程終了後に到着した。
- ・各県出場者数はほとんど変更が無いので、利用交通機関調査は不要と考える。
- ・例年のことながら、ヨット競技のお盆開催は検討すべきだと思う。今後の固定開催も常任理事会に諮るべき。

## 2 総合開会式について

## 1) 企画・運営

- ① 感謝/良かった [41]    ② 入場行進の人数良かった [0]  
③ 会場の空席が気になる [1]    ④ 事務局と運営役員の連携不備 [0]  
⑤ 参加予定者の追加変更等対応希望 [0]    ⑥ 観覧役員数の早期公表希望 [0]  
⑦ 総合開会式のあり方要検討/経費削減の必要性 [9]    ⑧ 他 [0]

### ○自由意見

- ・限られた時間、制約のある動きの中で、とてもコンパクトにまとめられていたと思います。すっきりとしていて、今後の開会式の在り方にも一石を投じたのではないのでしょうか。
- ・もっと多くの高校生に見せたかった内容であった。総合開会式を行うのであれば例年どおり各競技開始前の日程に開催した方が良いと感じた。
- ・新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中において、開催していただいたことに感謝申し上げます。選手団は少ない状況でしたが、地元高校生の取組や演出を直接見てふれ合うことができたことは大きな収穫であったと思います。
- ・今回はコロナ禍での縮小開催だったため、それほど感じなかったが、近年の傾向で開催地の負担（労力も経費も）が年々増しているように感じる。特に自治体の経費負担を考えると、今後の総合開会式のあり方を検討する必要性を感じる。
- ・とても意義深い行事であるとは思いますが、経費節減に向けた検討は必要と考えます。
- ・サッカーについては休息日が必要で開催日が長いので総合開会式への参加は負担になるとチーム関係者からの意見もある。内容はすばらしかったが予算の面からも簡略化が必要ではないか（サッカー）
- ・大規模な開会式は必要ないと思います。経費のことも考えて縮小を希望します（ポート）
- ・内容も当初より短縮バージョンとなったと推察している。式典担当者や参加者のご努力等に敬意を表したい。
- ・今後の総合開会式については、開催地の負担、全国高体連の負担等を考慮し、そのあり方についての協議が必要と感じている。
- ・雨の中、係の先生や高校生が丁寧に案内をしてくれて大変ありがたかった。
- ・コロナ禍において、総合開会式の開催自体を検討すべきではないか。
- ・開催県となった時に、開会式を簡素化し経費を削減しますとは言いつらいが、コロナ禍であることが良いチャンスではないでしょうか。
- ・素晴らしい総合開会式であった。しかし、準備を考えると担当県の大変さを感じ取ることができる。簡素化を図るには、思い切った方針転換が必要である。
- ・経費節減が必要な中、総合開会式の在り方を考えても良い時期であると思う。
- ・高校生の活動やそこに携わった先生方には最大限の敬意を表しますが、コロナ禍による人流抑制の中、サッカー競技選手を参集させての開催は、チームに戻った際に感染源となる可能性もあり、その後の競技参加へのリスクを高めることにも繋がりがねず、不安が大きかった。
- ・コロナ禍の中で開催するにあたり、企画・運営において非常に苦勞されたと思います。お世話になりありがとうございました。
- ・本来ならば、たくさんの来賓の方々をお迎えして行う予定だったと思いますが、縮小し、感染症対策を施しながらも、素晴らしい総合開会式になったと思います。高校生たちが案内や裏方の仕事をしているのを目の当たりにして、総合開会式を開催していただいたことに深く感謝しています。参加させていただき本当にありがとうございました。
- ・集合時間が早すぎる気がする。立ちっぱなしの状態でも2時間余りはきつかったとの意見あり。
- ・総合開会式を現地で拝見させていただきました。多くの準備時間や労力を費やしてこられた高校生や関係者の

思いの詰まった内容に感動し、感謝の思いでいっぱいです。しかしながら、ブロック開催の為、かつてのように多くの選手を参集できない状況に加え、果たしてどれほどの周知が出来ているのか、効果があるのか疑問にも思います。07年に中国ブロック（中心県は広島の予定）での開催を控えています、開催経費や関係者の負担を考えると思い切って総合開会式を止めてもよいのではと個人的には考えています。

- 導入部分の郷土を紹介する案内動画は、競技する地域の理解が深まり良かった。歓迎演技はアップテンポで音、映像、光を効果的かつふんだんに織り込んだ内容で楽しめました。最近の傾向で、観客に手拍子やダンスでの参加を求めるスタイルが増えてきたが観るだけでも充分楽しめました。選手団激励は、おもてなしの気持ちが伝わる素晴らしい内容だったと思います。ただし歓迎演技からの流れから、内容が盛り沢山すぎ、少し長過ぎたような気がしました。
- 無観客となったことが残念ではあるが、この時点でのできることを最大限にさせていただいたと感じた。
- 生徒の躍動感あふれる内容で、エネルギーを与えてもらった。
- コロナ禍、また雨天での開催で、ご苦勞が絶えなかったと思いますが、とても印象深い総合開会式となりました。

## 2) 会場

① 良かった [44]    ② 改善余地あり [3]    ③ 他 [0]

### ○自由意見

- ・円形の会場は開放感もあり、効果的な演出ができて良かった。
- ・今回の各県の参加規模と会場のスペースであれば、感染リスクの不安もなく良かったと思う。コロナ禍であることを考慮するとこれ以上、規模を大きくできないとも感じた。
- ・雨天時の対応（受付が行列となりびしょ濡れ）
- ・福井県開催であるならば9.98 スタジアムでよかったと思う。できればワールドカップサッカーを開催した会場である都道府県であったり、オリンピックスタジアムが理想的(真夏に行われるため、日影が多いこと。台風対策にとっても、観客席が大きく屋根があることが理想的である（陸上）
- ・大雨の中、地元の高中生や役員から献身的なお世話をいただいたことに感謝している。
- ・快適だった。
- ・今回は、感染対策のため人数をかなり制限して開会式を行ったが、従来通りに入場行進を行った場合、大人数となるため、雨天時の待機場所や雨天時におけるドームへの移動など対応は準備されていたのであろうか気になった。
- ・駐車場から会場受付までの動線は分かりやすく良かった。一方で、選手団団長・役員の受付から建物入口までの間に案内係がおらず、分かりにくかった。
- ・館内は非常に広がったが、館外での待ち時間が長く、椅子もなかったので疲れました。
- ・大雨であったが、車両を会場そばまで乗り付けられて助かった。
- ・会場が広く、参加区分によって動線、集合や受付場所が異なり、また通行規制も会場内は多いため、建物内（あるいは周辺）で参加者の質問に対応でき、案内できるスタッフがある程度必要なのではないかと思いました。また、雨天時を想定し、少しでも足元が濡れないような動線を考えておく必要があると思いました。選手団受付も屋外であったため、傘さしやカップ着用で長い列ができていましたが、できれば屋内か順番待ちの方も濡れずにすむような場所が確保できれば良かったと思います。
- ・座席スペースも十分であった。各県の待機場所スペースが手狭に感じられた。
- ・感染対策がしっかりと講じられており、安心して参加することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度に限ったことだと思うが、控え場所がなく雨もふっていたため、困った。

### 3) 総合開会式の輸送

① 良かった [40]    ② 改善余地あり [3]    ③ 他 [3]

#### ○自由意見

- ・利用していない。
- ・往復、輸送バスを利用したが、時間的に予定どおり移動することができた。
- ・バス輸送を利用している人が少ないように感じました。
- ・内容は充実して大変良かった。しかし今後の財政状況を鑑みると経費をさらに節減する必要があると思う。
- ・サッカー競技男子の選手のみ参加の総合開会式なら感染リスクを抑えるために、もっと簡素化してもよかった。
- ・この中で、総合開会式の縮小や生徒への負担、感染リスクを下げるなど課題あり。
- ・動員3日間のうち、1日目・2日目はほとんど仕事がなかった。無駄をなくして欲しい
- ・出席人数が制限されたため混雑はなかった。  
宿舎から開会式会場へ移動するバス内も、席に余裕があり安全・安心が確保できた。
- ・わずか数名しか乗車していない大型バスが多数見受けられた。密を避けるためといっても大型バスである必要はなく、費用削減の観点からすれば、縮小開催が決定した時点で検討の余地があったと考えられる。
- ・シャトルバスの到着が早すぎると感じた。3人で1台（コロナ対応だとは思いますが、少々無駄のように感じた）
- ・参加選手団の試合日程の都合により、個人車両での乗り入れをお願いしましたが、臨機応変に対応いただけました。
- ・自家用車にて来場したが、特に渋滞等もおこらなかった。
- ・福井駅、鯖江駅との往復シャトルバスはとても助かった。また、係の方々の対応が丁寧で、とても良かった。
- ・20人の乗車定員について、事前に確認できていませんでした。
- ・例年どおり県高体連も計画輸送バスが手配されるものと思っていたので、自家用車の乗り入れは県実行委員会に迷惑をかけると思い遠慮したが、シャトルバスになるのであれば、自家用車の会場乗り入れを申請すればよかった。事前に、説明がほしかった。

#### 4) 式典・演技について

① 感動/良かった [45]    ② 改善余地あり [1]    ③ 他 [1]

##### ○自由意見

- ・生徒たちのエネルギッシュなパフォーマンスに胸が熱くなりました。「オリンピックの開会式より良かった」と他県の方々と話していました。
- ・様々な演出があり、高校生一人ひとりの表情と歓迎の気持ちが伝わる内容であった。
- ・さまざまな制限がある中、素晴らしい開会式の演技と運営・準備に感謝いたします。
- ・地元高校生のパフォーマンスは素晴らしかった。退場の際に見送ってくれたのには感動。
- ・感動しました。無観客となってしまったことがとても残念です。
- ・地元の高校生が躍動する姿に感動した。
- ・地元高校生の演技に感動いたしました。JETSも凄かった。
- ・参加した選手、引率者等からは、「①感動/良かった」「パワーをもらえた」という意見が聞かれた。会場全体で踊るようなパフォーマンスは必要ないのではないか。という意見も。
- ・高校生の可能性を感じる素晴らしい演技でした。
- ・工夫を凝らした式典での演技、また映像等を見させていただき、高校生が必死になって準備、練習してきた様子がとてもよく伝わってきました。コロナ禍においてもインターハイを成功させるために努力を重ねてくれた高校生の生徒たち及び、その指導に携わって下さった先生方をはじめ、すべての関係者の方々に感謝しております。本当にありがとうございました。おつかれさまでした。
- ・地元高校生による躍動感ある演技、福井県の特徴を加味した演技構成は素晴らしかった。総合開会式は、是非、高校野球のようにNHKで取り上げ、全国に放映してほしい。
- ・高校生活動の生徒の頑張りなど大変良かったと思います。
- ・コンパクトであったが大変良かったと思います。
- ・試合前日の選手も多い中、床に長時間座らせることは参加選手への負担が大きい。フロアにいる時間を最小限にとどめ、できるだけ椅子（座席）に座って参加できるような構成を検討すべきと考える。
- ・映像、歓迎演技は大変すばらしいものであった。
- ・一生懸命に式典や演技に参加している生徒を見て感動しました。演技の内容も非常に良かったです。
- ・演技構成等大幅な変更があったと思いますが、素晴らしい演技に感動しました。
- ・今回は東京オリ・パラの関係で、半分近くの競技が終了してからでしか実施できなかったのが残念でした。新型コロナウイルスの対応も大変だったと思いますが、今回のような特殊な事情下におかれた場合は、内容の検討の他、総合開会式の実施の可否も含めた議論が必要かと思います。開催自治体に大きな財政的な負担となり、地方の自治体では受け入れが厳しくなってきたところあるインターハイの現状を考えると、莫大な労力や経費をつぎ込む総合開会式については、その意義や在り方、持続可能な実施方法を早急に考えていかななくてはならない必要性を感じます。
- ・高校生のアトラクションが大変良かった。全力で取り組んでいる姿に感動を覚えた。
- ・今まで練習を積み重ねてこられた内容であったと思う。感動した。
- ・よく工夫され、準備にも多くの時間を費やしたことと思います。ただ、行進がなく時間的に大幅な短縮がなされるものと思っていましたが、応援演技の演目が多く、コロナ禍の大会前の選手を拘束している時間としては長すぎたのではないかと思います。
- ・福井県の特徴を生かした、生徒が主役の総合開会式の演出で、とても感動しました。
- ・大雨により午後からの特急便が運休するため、会場には行ったが、式典には参加できなかった。
- ・高校生活動による選手団激励は、コロナ禍で制限のある中、とても工夫されており、とてもよかった。

## 5) 他、総合開会式について自由意見

- ・全てにおいてお疲れさまでした。これまでの準備に心から感謝申し上げます。昨年の群馬県の生徒たちにもこのような経験をさせてあげたかったと改めて感じました。
- ・開会式の入場に関するお願いパンフレットが配布されましたが、実際はチェックシートのみ提出でした。身分証明書・荷物検査もなく前日の加盟団体長会議で連絡していただけたらスムーズに入れたと思いました。開会式の一般参加者の基準を知りたいです。
- ・総合開会式参加の指定競技と公式練習が重複しないよう調整するべきである。選手のコンディショニングのことで要望があった。
- ・受付の案内と動線にもう少し工夫が必要であったと感じた。受付の表示や受付後の誘導等があれば良かったと感じた。
- ・アスリートファーストを考えると待機場所をホール内（あれだけ広ければ）でもよかったのでは。待機場所に椅子もほとんどなく、翌日試合の選手も長時間たちっぱなしの状態であった。
- ・簡素化されており、密にならないよう工夫されていた。
- ・このコロナの状況で総合開会式は無理でも、競技別開会式を開催してもらえると生徒にとっても「全国大会に出場したぞ!」という気持ちになれるので良いと思いました。
- ・オリンピック、パラリンピックの間での開催という制限はありましたが、やって良かったと思います。福井県実行委員会等、関係者の皆様に感謝申し上げます。
- ・近年、単一種目による総合開会式となっている。日程上致し方ないとは言え、総合開会式の実施について違和感がある。
- ・開会式に参加する選手が、実際に大会に参加しない選手になっているのではないかと。種目別大会の開会式を兼ねているのならば、大会への登録選手がでる必要があるのではないかと。
- ・規模縮小という観点から、総合開会式自体の開催について検討が必要。
- ・試合前の選手を朝早くから集めることも、選手の体調管理という面から検討が必要。
- ・コロナ感染防止の観点からも、開催の形式(方法)も検討すべきではないかと。
- ・高校生の発表が素晴らしく、入場制限が残念であった。
- ・高校生活動など大変感動した。
- ・地元高校生の頑張りが伝わりました。
- ・度重なる変更に対し柔軟に対応いただき、大変ありがたかった。
- ・「出席承り書」については、実行委員会と参加者双方の負担軽減のため、データ提出への変更を検討いただきたい。(HPから様式をダウンロードするなど)
- ・総合開会式に参加する生徒は「エントリー選手でないといけない」という部分を変更することは出来ないのでしょうか？総合開会式の翌日に試合を控えていたら拘束時間が長いと生徒に何らかの負担をかけてしまい、健康面での心配がある。エントリー外の選手でも参加出来るような体制を作って欲しい。
- ・制限ある中でも工夫され盛大な開会式に感動しました、ありがとうございました。
- ・コロナ禍の開催で、開会式の内容や参加者の制限等、最後まで流動的な点も多かったと拝察します。様々な事に臨機応変に対応頂き、ありがとうございました。総合開会式でしか得られない「感動」があると再確認した式典でした。
- ・開催していただき、感謝しかありません。ありがとうございました。
- ・コロナ対策としての縮小版開催であったが、今後この規模の開催の形でいいのではないかと考える。総合開会式1日に多額の経費をかけることについては、持続可能な大会の開催とは言えない。
- ・受付後の選手の待機場所に座るところがなく、選手たちが立ち尽くしていた。今回で言えば、参加選手が少なかったことも考えれば、椅子を並べて欲しかった。次年度もコロナ禍での大会も予想されるため、改善策を引き継ぎしていただきたい。

# 3 競技大会について

## 競技名

- ① 陸上競技 [13] ② 体操 [3] ③ 水泳 [4] ④ バスケットボール [4]  
⑤ バレーボール [4] ⑥ 卓球 [3] ⑦ ソフトテニス [6] ⑧ ハンドボール [3]  
⑨ サッカー [4] ⑩ バドミントン [2] ⑪ ソフトボール [5] ⑫ 相撲 [3]  
⑬ 柔道 [5] ⑭ ボート [0] ⑮ 剣道 [5] ⑯ レスリング [5] ⑰ 弓道 [5]  
⑱ テニス [3] ⑲ 登山 [4] ⑳ 自転車競技 [2] ㉑ ボクシング [2]  
㉒ ホッケー [5] ㉓ ウェイトリフティング [1] ㉔ ヨット [1] ㉕ フェンシング [2]  
㉖ 空手道 [6] ㉗ アーチェリー [3] ㉘ なぎなた [5] ㉙ カヌー [2]  
㉚ 少林寺拳法 [2]

## ○自由意見

### (陸上競技)

- ・コロナ対策がしっかりされていた。突発的な事項にも素早く対応していた。
- ・悪天候による時間変更や各種問題がありましたが、開催に感謝致します。
- ・屋外競技の会場に、日陰を人工的に準備してもらいたい。福井開催の陸上は日陰がなく、猛暑のIHとしては厳しい条件であった。
- ・2年ぶりの開催、競技運営面も大変な中、コロナ対策・無観客対応と本当にお疲れさまでした。感謝申し上げます。
- ・競技終了時間が悪天候のため延びた時も、高校生補助員が夜遅くまで片付けなどの業務を献身的に行ってくれていた。本当に感謝です。(陸上競技)
- ・悪天候の中、競技ダイヤなど変更も含めて福井県高体連陸上競技部の先生方には非常に負担をかけたと思います。高校生補助員も遅くまで業務に献身的な態度で取り組んでいる姿に感動をしました。競技も無事終了し、2年ぶりの全国総体ができたことに感謝です。
- ・全国大会を8レーンの競技場で行うには無理があると思います。
- ・夜に試合をする競技日程はどうかと思う。
- ・全ての競技会場において、感染予防対策がされており、安心して参加することができたと言っている。(特に、動線が明確で良かったという意見が多かった。)悪天候により、交通機関不通で競技開始の遅延は不可抗力とはいえ、最終種目の終了が21時というのは負担が大きいと思われる。
- ・陸上競技は朝早くから夜遅くまで開催される。配宿に至っては遠方から会場に行かなければいけないチームがある。出来れば現在5日間開催を6日間開催にしていれば解消される。
- ・抽選によるテント設置場所が800mもあったうえ、大雨により大変不自由な状況があった。マスクを外しての応援が多かった。アップ会場が密であった。次年度もコロナ禍であれば参加者を絞る必要がある。
- ・会場に遠い場所に配宿をされた場合、会場の近辺に配宿可能などところが出てきたら臨機応変に対応してほしい。
- ・Aランクでダブルベットに2人で寝る宿舎があった。
- ・福井県のある学校の保護者がスタンドで観戦していると聞いた。感染対策ができているのだろうか疑問に思った。
- ・大会二日目の判断について、平等性(雨や風など)の観点から妥当だったのか疑問が残る。

### (体操)

- ・IDにその日ごとに違う色のシールを貼るのはいい方法だと思いました。
- ・サブ会場が遠く、競技当日の計画輸送バスに引率教員が乗れないのには困った。
- ・ランク別に宿名が入っているとありがたい。
- ・高額であるが、冷蔵庫もなく相応の価格であるということではできない。
- ・冷蔵庫もなく、コンビニ、自動販売機まで車での移動でなければいけない距離であったのはさすがにしんどい。
- ・入場制限等徹底されていたと思います。

### (水泳)

- ・感染対策として、飛込プールを競泳のアップ場として利用しなくてはならなかった事情は分かるが、それに伴い飛込競技の時間が変更され、アップ開始の9時頃から決勝終了の16時頃の間には選手の昼食をとる時間を作ることができなかった。選手の健康面から考えると、今後このようなことがないようにしていただきたい。
- ・朝食が毎朝、そばといなり寿司だった。1泊2食で頼んだのに1泊1食になった。
- ・様々なコロナ対策をされたにもかかわらず、直前の感染拡大による予定変更など大変だったと思います。けれども、臨機応変に対応されておりました。大会期間中に感染者が出たとの報告はありませんが、大会終了後の感染状況がどうなっているかが知りたいです。

### (バスケットボール)

- ・バスケットボール会場（男子：長岡市、女子：新潟市）において、役員の皆さん、そして高校生のボランティアの皆さんが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に細心の注意を払いながら、競技運営をされていました。さらに「おもてなし」の気持ちも忘れずに、来県者に対して接してくださいました。誠に感謝申し上げます。
- ・アップ会場が確保されていない、選手は気の毒でコートが密状態であった。
- ・速報結果が一部見られないものがあった。
- ・コロナ過の中、準備・運営等ご苦勞がある中で開催していただき誠にありがとうございました。
- ・ハーフタイムでのウォーミングアップなしでの試合前のウォーミングアップは短いのではないかと感じた。

### (バレーボール)

- ・試合会場の出口が分かりにくく役員によっては違う場所に案内された。事前に地図を配っていただいていたが、初めての会場でゾーニングによる通路などの指定が入ると全く分からなかったので、貼紙や案内係の配置が必要である。自動販売機の使用について1日目は使えたが2日目から使えなくなった。事前に冷水機、自動販売機の使用禁止は周知が必要です。当日バタバタしました。全体的に感染症対策に追われて、新しく導入しているクイックモップターのルール等も役員や審判で言っていることが違っていたため、新しいことをやる上で徹底が必要であるように感じた。
- ・トレーナーの登録は運営側の不手際。体育館内に自販機（ドリンク）がない等の情報提供も不徹底。
- ・コロナで外に出ることができないのに、ホテル食ではなかったのは大変だった。また、指定していたランクとは全く違うホテルで戸惑った。

### (卓球)

- ・コロナ禍における試合の日程消化のために仕方がなかったとは思いますが、サブアリーナを試合に使うのは少々子供たちに可哀そうな面があった。練習会場として運用できると良かった。日程縮小を考えるのであればダブルスを実施せず、団体戦出場校を記念枠ではなく毎年地域ブロック枠として増やすのが良いと思う。強豪校に隠れて毎年参加の厳しいチームにチャンスを与え、スポットが当たる機会になると思う。
- ・試合テーブルと練習テーブルの変更が直前しかわからない。
- ・開催されたこと自体感謝しているが、それにも増して大会運営がよかった。
- ・大変な状況のなか、徹底した感染症対策をしていただき、大会の運営にあたっていただいた役員や高校生のボランティアの方々のおかげで開催できたことに、大変感謝しています。
- ・大会開催期間の短縮が必要ではないかと感じた。関係者の拘束時間が長期間になってしまっているため。
- ・コロナのこともあり朝・夕とも弁当だった（味噌汁等あったかいものが付いていたらよかった）
- ・会場からかなり離れた宿泊場所になった場合、タクシーで4,000円ぐらいかかってしまう。会場からのバスの本数も少なく、車がないと不便なところだった。
- ・会場への入場後、当初の連絡では、引率教員が健康調査表の様式を出すようにと指示があったが、生徒が出し

でも処理されていたので、もう少し徹底した方がよかった。それと、当日の検温、手指消毒等の対策も徹底されていなかった。(どちらかというとセルフ形式) 通過ゲートの際にIDチェックを受けるようにしていたが、高校生がその役割になるときちんとチェックをしていなく、あまり機能していなかったように感じた。いずれにしても、コロナ禍の中で開催するという事は、まずは体調がすぐれない人を会場へ入れない、そして、参加者、関係者からコロナ感染者を出さないという意識を高くもって運営に携わらないといけなかったと感じた。大会期間中、多くの先生方、生徒たちが運営に携わり、大会をサポートしていただき感謝いたします。コロナ対策でいろいろと制限がかなりあったが、その中でも選手たちは試合ができる喜びを感じてプレーしていた。運営の力も大きいと感じた。

#### (ソフトテニス)

- ・競技会場までの交通の便があまりにも不便でした。車でなければ移動できない会場では開催すべきではないと思います。
- ・無観客試合で実施されましたが、試合によっては出場選手の観戦によって密となるスタンドもあったと思われる。試合外の選手(待機の選手を除く)のスタンド入場規制も必要であったかもしれない。
- ・審判員に1級審判の方が少なかったように感じました。
- ・宿舎によって意見が異なる。
- ・スマホでの入場許可が良かった。

#### (ハンドボール)

- ・1日目の夕食時にお店へ向かうと、ホテルから連絡不足があったようで、他チームとダブルブッキングになっていた。お店の規模的には1チームしか入れない状態だった為、先に着いていた我々は時間通りにいただくことができたが、他チームはお店の外でずっと待ってもらうことになり、こちらとしても申し訳なかった。試合前日の夕食だったので、今後はこのようなことが無いよう、ホテルとお店での連携を密にさせていただきたい。この日の夕食は大皿での提供だったので、このご時世を鑑みると個別での提供をお願いしたかった。
- ・希望ランクと違う高額なランクになっていた。コロナ禍で生活が困窮している家庭の生徒もあり、非常に心苦しかった。一般的なビジネスホテルで¥12,000、夕食付けて¥15,000は、非常に高すぎた。

#### (サッカー)

- ・荒天の中、運営をしていただきただただ感謝です。
- ・特に開会式のおもてなしには感動しました。
- ・1回戦 三国会場のLIVE配信ができず保護者等から連絡が多発しました。
- ・おもてなしされている感じが伝わりました。
- ・バランスよく食事もたくさん食べれたので良かったです。

#### (ソフトボール)

- ・インハイTVで試合を観戦することができない試合があった。
- ・予備日を1日でも設定してほしい。女子は1日雨天中止になっただけで4校優勝となってしまった。高校生活最後の大会だけに最後までやりきりたい。
- ・会場の駐車スペースが少なかったと思います。
- ・大変な状況のなか、徹底した感染症対策をしていただき、大会の運営にあたっていただいた役員や高校生のボランティアの方々のおかげで開催できたことに、大変感謝しています。
- ・無観客で実施したことで感染症対策が出来ていたと思う。

#### (相撲)

- ・無観客での開催ではありましたが、生徒にとってはこれまでの練習の成果を発揮する場面があり、よかったと思います。
- ・控室が野外で空調がなく、気温が高かったため生徒の体調管理に苦慮した。

#### (柔道)

- ・事前PCR検査の結果によって、参加の可否が決められたことに違和感を感じました。再検査の結果が陰性であっても、参加できない選手がいました。全柔連のコントロールは、今後改善が必須であると思います。
- ・柔道競技については、事前にPCR検査を実施し、陽性判定された高校及び選手が不出場となったが、全競技が検査を行っているのであれば問題ないが、競技によって差異があり、平等性に欠ける。

- ・柔道競技においては、試合前の PCR 検査を実施したが、その件について色々と問題が起こった。 コロナ禍の中で競技をおこなうことは大変難しいことを実感させられた。大会が始まれば、運営は大変スムーズにいていたように思う。
- ・昨年度、本県が開催予定でしたが、中止となったため十分引き継ぎが出来ない中での開催にもかかわらず、しっかりと準備・運営された大会であった。
- ・開・閉会式は整列して実施しない。試合時間はすべて3分間で実施。審判会議を Web 会議で開催する。監督会議は全国委員のみ参加。国常任委員会を大会前に Web 会議で開催など十分な感染対策がとられ、密を回避する上においても有意義であった。
- ・最寄りの駅から会場まで遠いのは仕方ないが公共交通機関（バス等）がないのは不便。
- ・入場制限が厳しすぎる。せめて再入場は認めて欲しかった。
- ・大変な時期に開催していただき感謝しております。ありがとうございます。対応が難しいことを承知で書かせていただきます。会場への入退場について、引率が一人の場合、対応が難しい（下記内容）。大会出場選手だけでも会場に入れて欲しかった。
- ・複数名が大会に参加している学校は、試合がすでに終わった生徒を宿泊先に待機させるしかない。
- ・出場選手と計量で入場時間が違うため引率が一人の場合出場選手と一緒に連れてきて外で待機させるしかない。

#### (剣道)

- ・事前配布の資料が煩雑で、説明不足のため、いっどこで何を提出するのかわからなかった。提出物を一覧にする等の必要がある。
- ・大変な状況のなか、徹底した感染症対策をしていただき、大会の運営にあたっていただいた役員や高校生のボランティアの方々のおかげで開催できたことに、大変感謝しています。
- ・宿舎にマイクロバス対応の駐車場が少なく、駐車に苦慮した。
- ・コロナ対策による競技日程の作成や、より接触を少なくした運営方法（練習会場の時間制限・試合順による入場制限・動線の一方通行）など、来年度に向けて非常に参考になる内容であった。関係各位の開催に向けた努力に頭が下がる大会であった。
- ・このコロナ禍の中、運営関係の皆様には開催していただいたことに感謝したい。
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たため、消毒作業等で3日目の開始時間が大幅に遅れたが、入場制限にQRコードを用いるなど、感染対策は徹底されていた。

#### (レスリング)

- ・参加者への事前抗原検査が徹底される等、コロナ感染対策も十分にとられていたのでストレスなく参加できました。（レスリング）
- ・開催地である福井県おおい町のサーバーが申し込み時にパンクし大変そうでした。
- ・大会中コロナ感染があり、大会2日目以降高校生を含む学校関係者数十名が欠席し全国高体連常務理事や審判が協力して高校生が行う予定であったスコア表示やマット放送をこなしていました。
- ・インハイ tv で被写体を追ってくれたら嬉しいです。選手が小さく見えるので。
- ・大まか例年通りです、上記のような非常事態に対応できたことは賞賛に値します。
- ・3年前に国体を経験している町でのインターハイ。町役場の方々には運営の経験があり慣れていました。来年開催の高知インターハイはレスリング競技会史上初の市町村(高知市開催)の協力が得られないという大会です。県教委の協力のもと大会成功に全力を注ぎます
- ・毎年言っています。ちなみに熊本インターハイでは業者の手違いで監督の部屋がなく監督は4日間車泊でした。

#### (弓道)

- ・競技時間が押したために、滞在時間が長くなってしまい感染症リスクを高めたかもしれない。
- ・競技時間までの時間も長くなり調整に苦労した。
- ・待たされる時間に関連して、密になる場面があった。
- ・感染拡大防止ガイドラインに沿って運営されていたので、安心感がありました。現状、最大限配慮された大会であったように思います。感染予防にとっても気を遣っていただき、ありがたかったです。開催していただけただけでも感謝しています。生徒達も大変喜んでいました。
- ・決勝の場において、決勝のメンバーをそのまま控室に戻すなどもう少し時間短縮ができたのではないかと感じ

ました。

- ・密を避けて競技を行うことができた。
- ・宿泊先が決まってから出発までの日数が短かったのもう少し早く宿泊先を決定して欲しい。
- ・公式練習前の常設弓道場での練習時間が分かりにくかった。練習枠を予約した際には本番会場での練習時間しか確認表示されなかったため、一覧表を確認する指示等が必要であると思う。
- ・感染対策が徹底されており、会場も全館冷房で申し分なかった。ただ、最小限の人数での運営で難しい状況とは思いますが、的中確認でスムーズに行かないところがあった。的中に関することは、様々な事を想定して入念な打合せが必要だと感じた。

#### (テニス)

- ・女子はそのランクのリストにないホテルに配宿され、ランクがわからなかった。
- ・配宿が遅く、かつ振り込み期間が短い。さらに、領収証も書いてくれなかったらしい。(振込用紙が領収代りといわれた。)
- ・女子はランクにないホテルに配宿され、1泊2食付きの値段だと思うが、夕食はグルメチケットを500円で買わされた。グルメチケットは意味があるのか？夕食がないのなら、無料で夕食用のチケットを値段分用意しなければいけないのでは？
- ・1泊朝食付きと1泊2食付きで値段が同じなのはおかしい。

#### (登山)

- ・競技内容を再考すべきか。また、審査基準と減点理由を明確にすべきであると思った。
- ・コロナ禍で食事提供など従来にはない負担を大会本部にかけています。ほんとうにありがとうございました。日程が1日短いとあっという間に終わったような気がします。また、移動のリスクはありますが、登山コースに経ヶ岳コースを残して欲しかったとは思いますが。
- ・開催県の専門部に3校しか登録がないので、要員不足。事前準備の段階からブロック内他県の教員も、もっと関わることが出来るような枠組みが必要。他競技のように体育施設を使用するのではなく、自然の中に会場を設定するため何年か前から調査等をするため、大会経験のあるスタッフが協力しやすくなればよい。
- ・登山競技は頻繁にメール等でも情報共有がなされ当方には便利だったが、他県の専門委員長の中には不満を持った者もいたようだが、価値観の相違というものであろう。
- ・毎回、地元の小中高校生には感謝してもきれない。今年はコロナの影響か、予算の影響かは分かりませんが、サンプリングや応援職がなく少し寂しかったようである。しかし、受付、手指消毒、毎朝4時からの弁当配布など多方面で支えていただいていた。本当にありがたく、参加校からも謝意が寄せられている。同時に、昨年の群馬大会を準備してくださっていた小中高校生にもこの場を借りて感謝申し上げたい。昨年インターハイの場を失った学生は競技者だけではないのである。
- ・配宿センターがアップした内容と、登山競技大会の要項の内容が全く違うときがあり、大会事務局の総務委員長から確認をとっていただいたが、配宿センター側の不備だった。
- ・下見や事前合宿等で独自に宿を確保して、現場入りしている学校が多い現状においては、その兼ね合いが難しいのは承知しているのだが、宿泊の決定通知をせめて開会式の2週間前までにはしていただきたい。
- ・夕食が外注にせざるを得ない配宿の状況だったと聞いている。該当の自治体内の宿舎は工夫しながら対応してくれている。今後もそのような対応をしていくしかない開催地が続くと思うが、配宿センター側は参加校への丁寧な説明と、現状への理解をいただく姿勢が必要である。
- ・おそらく衛生面や安全面を万全にし、地元のPRを兼ねているお弁当は、対策コストでこの値段となるのかもしれない。我々としてはもう少し簡素でも良いと思っている。
- ・事例1として、本来の宿泊なら最低ランク付近の料金で泊まることのできる宿が、配宿センターを通すと、なぜか中ランク料金付近まで値上がりするケースが多い。おそらくは配宿センターに対する利益配分があるため勝手に想像しているが、配宿センター担当の旅行代理店から正式な理由を説明してほしいものである。
- 事例2として、はじめから高い宿しか宿舎が無い地域(特に非大都市圏や郡部開催の競技地で多い傾向がある。最近では岡山の登山競技 [蒜山高原や湯原温泉]、山形のソフトボール競技 [南陽市周辺] など)での開催時には、より高い料金を請求されるケースが多い。高知県の公立学校のように「最低ランク付近しか宿泊料金を認めない」という通知があるところほど、かわいそうな現状にある。

- ・限られた宿舎の資源を工夫されながら対応されていたようである。
- ・ジオアリーナでは結構細かく感染防止策がとられ、距離を確保することに腐心されていた。頭が下がります。バス移動の際も定員を半分にして換気をしながらの移動ができたと聞いている。大会期間中の検温、マスクはチームとして問題なく対応できた。その分、諸経費の負担が増えそうだとということで、コロナ対策のための追加請求があり得るという話が専門委員長会議であった。コロナは経済的な制約も増やすのだなあと、苦笑いするしかなかった。あわせて、コロナ禍がおさまらなければ、来年の香川インターハイもテント泊や炊事なしの大会になることも香川県側より話があった。来年こそコロナ禍は収束してほしいものである。

#### (自転車)

- ・コロナ禍の中、ぎりぎりまで調整し、開催に繋げていただきありがとうございます。
- ・競技中の落車事故、機材トラブル対応について協議委員に共通認識として徹底をお願い致します。
- ・選手待機場所が密であった。また、現行の地方ごとの待機場所区分では、資金力があり、早めに現地入りできて大量の物資を運搬できる学校がほぼ「早いもの勝ち」で広い面積を占拠している。小規模で個人参加に近い学校は待機場所の確保も難しく、公平とは言えないと思う。地方ごとではなく、せめて県ごとに待機場所を区分してほしい。

#### (ボクシング)

- ・事前確認もあり、対策を含め徹底されていた。
- ・ボクシング会場として広さは十分に感染対策も良く出来ていた。観客席も各県に割り当てられる理想的な会場であった。
- ・当初の予定とは感染対策で変わってしまったのは仕方ないと思うが、体重調整用の練習場所として外の野球場の屋根下でのアップを実施していたが、雨が降っている時に移動が大変になるのではないかと思った。(実際大雨の関係で試合前アップ会場から試合会場までは屋外を通らず体育館の中を移動距離を長くとり行っていた。その為グロービングに来るべき選手が遅れる等の問題も発生していた) 来年度開催を控える高知県としては屋外でupする場所がないので不安に感じている。(場所を確保するのであれば南国スポーツセンターの屋外の屋根のある下を考えていく事になると思う)
- ・メディカルチェック通過後、入場許可 ID カードへ日毎のシールを貼っていたが毎日同じ所に重ねて貼るようにはしていたが、日付ごとにするものではないのかと思っていた。
- ・エントリズチェックを各ブロック毎に集合をさせて行うのは良い案だと思った。しかしかなり時間がかかってしまうので、ユニフォームの点検など何か短縮する方法はないかと検討していきたい。

#### (ホッケー)

- ・コロナ禍のもと、大雨も重なり、主催者側は大変だったと思います。
- ・仕方のないことだが、雨天のためグラウンドコンディションが悪く残念だった。

#### (ウェイトリフティング)

- ・大会プログラムの委員長ようがないのは残念、来年も入場制限する場合は委員長の制限をしないように考えてほしい。
- ・大変な状況のなか、徹底した感染症対策をしていただき、大会の運営にあたっていただいた役員や高校生のボランティアの方々のおかげで開催できたことに、大変感謝しています。

#### (空手道)

- ・コロナ禍において開会式での抽選会のイベントは必要ないと思う。パンフレットに団体組手の組み合わせがなかったのが不便さを感じた。女子の形では入場に音楽が流れないなど、演出に違いがあり、選手が可哀想であった。
- ・会場が狭く運営が大変であったと思う。本当に素晴らしい運営をしていただいたと思います。
- ・五輪もあり、お盆の時期になったのは仕方がないが、運営の先生方もかなり大変だったと思う。本当にお疲れ様でした。

#### (アーチェリー)

- ・決勝を会場で見られないのは残念であった。
- ・高知県のように競技団体が少なく、学校間が遠距離の場合、金銭を含めて申し込みに係る書類等を専門員長が

取りまとめることが大変厳しい。特例などを定める形にして、学校ごとに申し込みを許可していただきたい。

- ・感染予防も徹底しており、何ら不満はありません。
- ・福井県での感染症対策は、何ら問題ないように思います。競技の特性を考えた運営、IDでの入場管理等、事務局はかなり大変だったと思いますが、ありがたかったです。競技の短縮のために男女をそれぞれ1日で終了させたことも良かったと思います。強いて、言うなればやはり移動です。遠距離の移動ということで、コロナウイルスの緊急事態宣言地域を通過する必要があります。生徒はまだワクチンを打っていない状態でした。感染に気を付けて参加しておりますが、保護者からは大会が開催されることがわからない。中止すべきではないか、移動の時に雇ったらどうするという、否定的な意見も多かったです。大会が開催されることは生徒や顧問は大変ありがたいのですが、このような状況の中、厳しい意見もあるということも申し添えておきます。
- ・規模縮小での大会で残念な部分もあったが、2年ぶりに開催されたことに関係団体、開催地の皆様に心から感謝いたします。

#### (なぎなた)

- ・練習会場の時間分けや、冷房完備の環境、選手控え場所でも水分摂取ができ良かったです。競技役員をはじめ補助員の皆さんがとても丁寧な接して下さいました。緊張がほぐれ、選手は落ち着いて試合に臨めました。感謝申し上げます。
- ・大会にあたり、台風の影響で選手が間に合わない等の問題も迅速に対応してくださり、競技役員の方々の協力のおかげで無事大会を終えることができた。

#### (カヌー)

- ・コロナ禍での大会ありがとうございました。会場レイアウトについて、監督会議で変更があり改善された部分はあったが、競技に不公平感がでない工夫が必要だと感じた。
- ・反省点が多く、専門部会議で確認していく。
- ・受付を作り全員が検温、消毒を実施し感染対策が取られていた。しかし、学校関係者という形で保護者がたくさん会場に入っていた。要綱には無観客と書いてあったにも関わらずルールが守られていないと感じた。

#### (少林寺拳法)

- ・新型コロナウイルス感染症対策に万全の準備をし、今大会を開催していただいたことに感謝申し上げます。生徒達に普段の修練の成果を披露できる機会を与えてもらえたことが何よりもありがたかったです。本当にありがとうございました。
- ・選手の部屋が「かび臭い」ではなく「カビだらけ」の部屋であった(カーペット全面、ランプシェード全面)。喘息持ちの選手もおり、健康への悪影響が懸念される。(一泊二食 9,800円)
- ・女子選手・女性役員ともに風呂なしシングルルームであった。生理への配慮がない。(選手は一泊二食 9,800円、役員は一泊二食 1万円超)
- ・どのランクであればまともな部屋になるのか示してほしい。
- ・かなり神経質に対策が行われていた。競技中、待機中、食事時、移動中、大会前後期間ともに対策が徹底されていたように思う。

#### (その他)

- ・コロナ禍での開催ということで密を避けるためにラインオープンチャットが採用された。しかし、大会期間中に「荒らし」のような行為が散見された。QRコードがインターネット上に公開されていて誰でも入れる状態になっていたためと思われる。オンラインでの伝達は非常によく機能していて良い試みだったが、部外者の侵入を防ぐためにもグループにパスワードをかけるなど対策を講じる必要があると感じた。外競技なので、天候に影響されるのは仕方がないが、雨で中止になると大会最終日まで終わらないのが残念でした。
- ・団体戦の決勝が上位4チームのみと規模を縮小しすぎたと思います。
- ・広大な敷地にある競技場で安全に実施できたと思います。また、選手の待機場所として空調の効いた体育館を用意していただけたことが暑さ対策と雨対策としてよかったと思います。
- ・このような状況の中、開催してくださり本当に感謝しています。現地での役員の先生方や補助員の皆さんも、献身的に活動されており感銘を受けました
- ・それぞれ素晴らしい競技大会であったと思います。
- ・コロナ対策で日程の簡素化を計画していたが、初日は競技別開会式の進行に少し時間的な無理があったようで

多少競技時間の遅れがあった。

- ・男女別大会となっている競技は会期が非常に長く、運営側は大変なご苦労があったと思われる。
- ・練習会場になっている学校にコロナ陽性者（補助員以外の生徒）が発生したため、練習会場の使用が中止になったり、補助員等が派遣できなくなるケースがあった。
- ・コロナ対策のため、参加チームへの連絡事項が多くなり、また、直前の追加や変更が多くあった。感染拡大の状況を見ながらの対応は非常に困難と感じた。
- ・開催時期を検討する必要がある。お盆は避けたい。
- ・大会運営は非常にスムーズで良かった。選手の入替え等も導線が確保されており、感染予防の観点からも良かったと思われる。
- ・今回の会場は、練習会場、競技会場ともに冷房設備が完備されており、熱中症の心配をしなくて良かった。
- ・寂しい面もあったが、観客がいないことで、ゲームに集中できたという意見もあった。
- ・日程変更などの連絡もスムーズで良かった。
- ・会期中の抽選は検討した方がよい。
- ・開場時間前、会場入り口が非常に密であった。
- ・観客席が仕切られていたが、会期中からマナー違反が多くなった。指導者にもマナーの徹底等が必要であった。
- ・無観客と言うこともあり、非常に多くの会場係(駐車場係)が配置されていたが、もっと少なくても良いのではないか。
- ・申込方法が変わった。タイムテーブルの変更もあったが、告知をするなど対応が必要。
- ・どの会場も芝の管理が行き届き、素晴らしい環境で試合をさせていただいた。
- ・コロナで辞退したチームやコロナに感染した審判がいたが、全国高体連の方々の助言をいただき、競技に支障なく日程通り終了することが出来た。
- ・長い間、開催県は運営と強化で大変な苦労がある中、充実した大会であった。感謝。
- ・ハードなコンディションの中、長時間の補助員に感謝しかありません。
- ・総合開会式参加後に1競技も視察激励ができなかったのは残念。
- ・視察激励をしていないので、意見はありません。専門部からの意見も特にありません。
- ・選手変更届に会長印が必要だが、部長印にならないか？（柔道・サッカー女子）事務局が不在の間、対応に困った。
- ・宿泊地から会場まで結構な距離があるのに会場までのシャトルバスがなかったので準備していただけるとありがたい。
- ・台風の影響で、宿舎から会場に向かうJRが止まってしまいました。そのような場合の大会実施について、あらかじめ検討が必要だと考えます。
- ・コロナ陽性の関係で大会開始が遅れたが、何時から開始されるのかの連絡が監督に伝わっておらず、かなり焦った準備になった。・女子の競技で会場入りしてから、1時間弱待たされる場面があった。サブ会場での練習後、移動も含めると2時間弱ウォーミングアップもできずに待たされた状態でいきなり競技開始となった。時間が押してしまうのは仕方がないが、けが防止のためにも、種目に入る前に少しでも配慮が欲しかった。
- ・新型コロナウイルスの感染症対策が行き届いていた（多数競技）
- ・それぞれの競技で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じてあり、大変ありがたかった。

# 4 配宿等競技以外の 部分について

## 1) 配宿センターの対応について

① 良かった [36]    ② 改善余地あり [21]    ③ 他 [5]

### ○自由意見

- ・ 宿舎の決定が遅すぎるのではと思いました（アーチェリー）。
- ・ 配宿先決定をもっと早くしてほしい（弓道）。
- ・ 素泊まりなのに、徒歩圏内にコンビニすらなかった（弓道）。
- ・ 主要駅からホテルまで遠すぎる（弓道）。
- ・ 相部屋が多く、人数も密になり宿を変更した種目がいくつかありました。
- ・ 競技会場がある福井市内の宿舎が空いているのに、遠い宿舎に配宿された学校が多数ありました。今回に限ったことではないが、選手ファーストでの対応をお願いしたい。（陸上競技）
- ・ 希望を優先して対応していただきました。（新体操）
- ・ ランクによる該当配宿先の掲載がなかったため、困りました。（ソフトテニス）
- ・ 配宿を希望したランクと大きくかけ離れたランクで配宿されました。宿泊費には学校によって上限があるので、希望したランクで配宿していただきたい。（相撲）
- ・ 競技会場から約40km離れた宿舎に配宿された。今後の改善を強く望みたい。（ウエトリテイク）
- ・ 良かったの意見が多かったが、配宿決定を早くして欲しかったとの要望があった。
- ・ 開会式参加のサッカーの宿泊場所が開会式会場から遠い。もう少し近い場所に。
- ・ 「車移動出来ないのに駅まで遠い」「タクシーで片道8000円以上かかる」「駅周辺のホテルが空き室があるからそちらに変更していただきたい」「学校・保護者がコロナ禍でシングル対応を要求している」などというの要望に対しての対応が、話は聞いてくれていて「大変ですね」とは言ってくれるが最終的には「変更はできません」という回答で何もしてもらえなかった。という案件が数件。※実際に福井駅前のビジネスホテルは空き部屋が多数あったとのことです（陸上）。
- ・ 未成年が泊まるのに喫煙部屋であった。戦いに来ているチームであり、いろいろな面で気を使っている。ホテルに入り、喫煙部屋と聞かされ今までいろんな面で気を使ってきたことが無くなってしまった。また、コロナ禍であるにも関わらず、部屋に風呂がついていなかった。大会中のコロナ感染予防もかなり気を付けながら、また、大会中は応援組も来ないように言われていたのに、感染リスクが高い行動をせざるを得ない状況であった。未成年であり、戦いに来ている以上は、配宿にも気を使ってほしかった。二日目からは移動ができたのでとても感謝しております（バスケ男子）
- ・ マイクロで行くと言っているのに駐車場がない。夕食がないというのもチームの負担になる（バレー女子）。
- ・ 今年は、出来れば大部屋ではなく全てシングルの部屋を用意していただきたいかった。一般客の方もいて、少し大変でした（ソフトテニス）。
- ・ 会場との近い位置やホテルの選定をもう少し考えてほしい。ホテルも狭すぎ、弁当高い（卓球女子）。
- ・ 宿泊料を現地清算だけでなく、事前振込もできると良かったです。
- ・ 配宿センターならびに宿舎のスタッフの方の丁寧な対応に感謝申し上げます。
- ・ 福井県で配宿センター業務を一括していたが他県で開催している競技の個別案件には対応不十分であった。できれば各開催県ごとに窓口がほしい。
- ・ コロナ対応など宿泊地(ホテル等)の負担が大きくなっているが、非常に良く対応してくれた。
- ・ ホテルの価格帯が高すぎる。抑えることが必要。
- ・ 開催県から、「来県するときには相乗りで」とお願いされ、役員と監督兼役員の3名で行動する旨を伝えていたが、配宿先が統一されていなかった。
- ・ 配宿の申込について、役員、役員と監督を兼ねる場合の申込方法が二転三転してわかりにくかった。
- ・ 「要望がほとんど叶わなかった、」という意見もあり。
- ・ 食事の時の感染対策が全くされていないと他チームからの情報があった。宿泊の部屋の環境面が悪く体調を崩す選手がいた。（ハンドボール）

- ・値段の希望のホテルより、かなり高いホテルに回されました。
- ・宿泊先決定を早くしてほしい→交通機関等の手配の関係。
- ・希望した価格帯と差が大きい。
- ・会場までの距離がある。
- ・決定には相談の余地が欲しい。
- ・愛知県高体連の役員が宿泊した宿は、電車の駅から荷物をもってかなり（25分）歩かなければならなかった。
- ・「宿泊の代金が、いつも思うが高すぎる」（バドミントン）
- ・配宿センターの宿は価格設定が高額。（登山）
- ・滋賀県の長浜市のビジネスホテルからの学校もありました。（ボート）
- ・コロナ禍ということを配慮のない5人部屋の配宿はリスク管理の使用が無かった。更に5人部屋での料金としては受け入れ難い値段だった。（サッカー）
- ・チームによっては最悪でした。（ハンドボール）
- ・希望のランクより下であったこと。1泊3食でなかった。公共交通機関であるための交通の便の要望も聞いてもらえて大変助かりました。（水泳）
- ・宿舎が決定するのがかなり遅かった。（レスリング）
- ・特に問題ありませんでしたが、宿泊費を現地宿舎で支払いは改善して下さるとありがたいです。かなり高額の現金を持ち歩くのは怖かったです。（自転車）
- ・現代の情報社会では、宿泊施設の申込みに書類の郵送は不要ではないか。（登山）
- ・配宿完了を知らせるメールがあると良い。（水泳）
- ・例年、理事長会で議論になりますが、そもそも配宿センター自体の在り様について議論が必要だと感じています。
- ・コロナ禍において、夕食付きでの配宿をお願いしていた学校が、館外対応となったことは理解を得にくかった。ミールクーポン対応を理解した上での申込みとは言え、個人で宿泊先を探すと夕食付きの宿舎に空きが見つかる状況もあり、配宿センターの在り方自体に疑念が生じる事態ともなった。一層の選手ファーストの対応をお願いしたい。
- ・やはり配宿に関しては検討の余地あり。ランクの低い宿舎があからさまに会場から離れているのが理不尽である。（水泳・競泳）
- ・配宿センターを通すことを強制する以上、各校の要望には応えてもらいたい。今回、希望していない宿舎への配宿が多々あった。顧問から問い合わせをしたが、たらい回しにされたあと、「決まったことですから」の一言で済まされた。また、ネットでもホテルが取れ、そちらのほうが格安であった。希望していない場所に高い料金を泊まらされ、ネットでなら希望するホテルに安く泊まれる、では宿泊料金等を出してもらっているPTAや生徒会に説明ができない。引率顧問と選手が同部屋というケースもあった。今時考えられないことである。沖縄インターハイの反省が全く活かされていないと思われる。（陸上競技）
- ・第3希望の中で当たって欲しくなかった宿にあたった。車を持ち込むことが分かっている学校に駐車場のない（有料）のホテルはあてないで欲しい。（登山）
- ・事前に配宿センターに要望を依頼文書で送付しているが誠意ある対応がなされておらず、監督会議での質疑応答も不誠実であった。（カヌー）
- ・いろいろな意見に対応していただきたいが、各県の事情によりそうでない場合があった。（水泳）
- ・値段の割に少し高いように感じました。利便性には差は無かったように感じました。（柔道）
- ・宿舎決定を早くしてほしい。（アーチェリー）
- ・予約時点で食事回数の違いによる混同宿泊申し込みの方法がややこしい
- ・電話対応が丁寧であった。
- ・「シングルの希望を多く受けている。希望に添えない」と何度もアナウンスがあったが、申し込みの段階で「シングルの希望は受け付けない」としている以上、このアナウンスは不要だと考える。私は、最初からあらかじめ希望すら書かなかったが、「あれ、書いていれば考慮してくれる可能性はあったの?」と感じた。また、このご時世において、シングルで全選手の宿泊が担保されないのであれば、大会実施の可否が問われると考える。
- ・親切にいただいた。

- ・マイクロバス利用を伝えていたにもかかわらず、バスの駐車場がなく大変であった。
- ・急遽ホテルが変更になったが、変更がHPに反映されていなかった。
- ・非常にランクの高い宿舎に泊まって宴会場に他県と雑魚寝。非常にランクの高い宿舎に泊まって食事が最悪の場所あり。宿舎によってはコロナウイルス感染症防止できてない宿舎あり。陸上競技は福井市で開催されたが、会場から近い宿がたくさん空いていた。遠方の学校をなるべく近くに宿泊出来たのでは？配宿に当たって校長印高体連会長印を押しての申し込みであるが勝手にキャンセルし、他の宿泊施設に泊まる学校あり（他県陸上競技で11校）何らかのペナルティーが必要だと思う。
- ・センターを通さないと大会には参加できないとJTBの社員に言われるのはおかしい。
- ・配宿決定通知を早めてほしい。※固定開催で他競技との調整はないため。
- ・全キャンセルする学校があった。JTBの対応（保護者のキャンセルしたホテルを確保できなかった）が悪い。（陸上競技）
- ・Web等に不慣れなものにとっては難しく困りました。ただ、質問等に対しての配宿センターの方の対応は親切で丁寧だったので助かりました（剣道）
- ・配宿先のフロントスタッフで感染が確認され、急遽宿を移動したチームがあった。現場も混乱していたようで、その連絡体制がいまいちだった。（弓道）
- ・宿泊の変更等について、配宿センターに連絡をとった際に対応がたいへん丁寧で、感心しました。（アーチェリー）
- ・宿舎決定が遅すぎる。参加申込と1カ月以上違っている（アーチェリー）
- ・D、Eランクの希望をしていたのに、相談なしでAランクになった。
- ・高校生に喫煙部屋は使用しないでほしい。
- ・選手以外の申込書もあったので宿泊できるのかと思い申込をしたが、結果申し込みができず後で訂正をしないといけなかったので二度手間になった（ハンドボール）
- ・連泊の予約ができることは良いが、値段が非常に高いと感じた。（テニス）
- ・配宿決定（閲覧時期）が遅い。（新体操）
- ・急な対応にも応じてくれてとても良かった。（ボクシング）
- ・必ず、苦情が出ることなのではないと思っています。

## 2) 配宿申込方法について

① 配宿センターで申し込み状況確認できるのが良かった [35]

② Webで申込変更手続きできるのが良かった [30]      ③ A選手優先配宿良かった [4]

④ 改善余地あり [9]      ⑤ 他 [2]

### ○自由意見

- ・円滑に手続きを進めることができた。
- ・わかりづらい(卓球女子)
- ・登録選手優先というのは初めて知りました。既に登録していても同じ宿でしたが(登山)
- ・入力が確定しているのかどうか少し分かりづらかったです。
- ・配宿の決定がもう少し早いといいかなと感じました。決定まで宿泊地と宿泊料金がわからないためです。予定が立てられません。
- ・抽選の上、対戦が決まってから宿泊メ切にして頂きたいと思います。(男子においては抽選より早いメ切でした。対戦をみて勝ち上がりを予想して宿泊を決めるので。)また、申込方法に関しても入力する場所や方法を分かりやすくした方が良いと思います。
- ・配宿センターの申込自体には問題ないが、申込書のやりとりにおいて紙ベースは時代にそぐわない。すべてデータでのやりとりをして欲しい。(少林寺拳法)
- ・第1希望も第2希望も第3希望も通らなかった。(空手)
- ・配宿希望なしでも参加申込に記載して提出することが、宿泊WEBでしか周知されていない。宿泊要項にも記載して周知する。
- ・登録選手+他の生徒数人を一緒に行動させるため③では行動計画が難しい。
- ・カヌー競技で参加した本県の生徒・顧問の配宿について、宿泊費の上限が県で決まっているが、カヌーの愛知県勢が割り当てられた宿舎は、県の規定をはるかに上回るAランクの高価な宿であった。各学校で違いはあるかと思うが、差額の対応について苦慮した。(連泊となるとかなり高額になってしまう)
- ・チーム引率を兼務する委員長の宿舎の配宿場所にもっと配慮すべき(配宿が本部から極端に離れていると、全国委員長会議等の移動に対して特別な時間と経費が発生する)(水泳・競泳)
- ・配宿決定の公開日があまりわかっていなかった(宿泊先はまだかな…とっていたので)、メール配信と公開と両方の確認があればよかったです。(ホッケー)
- ・宿舎が温泉街のため、申し込みの際希望したランクの宿舎に配宿されない県が多かった。(カヌー)
- ・学校の事情も考慮していただき助かりました。(少林寺拳法)
- ・宿泊決定が8月10日ということで、一斉閉庁直前で学校に提出する書類が作成できず事務も困っていた。また、一斉閉庁が17日にあけて、すぐ出発なので、決定通知の時期はもう少し早めていただきたい。
- ・申込変更手の時間帯が詳しく表示されていたら良いと思う。
- ・高校生の試合なのに値段が高かった。洗濯機の台数が少なく、近くのコインランドリーに行くとな多くのカヌー関係者が使用して地域から苦情がきた。
- ・連絡が取りにくい状況があった。
- ・操作しやすかった。
- ・配宿の不满を聞かなかったインターハイは初めてである。
- ・昔と違うのだから宿泊の申し込み方法に柔軟性を持たせていいのではないかな。
- ・登録選手以外の配宿をお願いしたい。何年か前までは登録以外の配宿もできたはず。登録選手以外の役割としては、試合前の練習時において必要になってくる。特にソフトボール競技は、試合形式のような練習を多いため人の数も必要になるからだ。(ソフトボール)
- ・配宿決定が遅かったため、事前に計画していたものが変更になった。(テニス)

- ・宿泊通知が8月14日、出発が8月17日だったため、学校事務の旅費算出期間が短く、苦慮した。（自転車競技）
- ・応援者分と選手分を一枚で申込できるようにしてもらいたい。（ソフトボール）
- ・競技によっては、希望日程を大会2～3日まで申し込んでおく必要が有るようでした。その際ホテル代金も支払う必要があったので、優遇できないかという連絡がありました。

### 3) 宿舎の食事について

- ① 良かった [35]    ② 朝食不可/夕食が弁当 [2]    ③ 値段の割にひどい [16]
- ④ 量/質の改善必要 [12]    ⑤ グルメチケットが使えない [4]
- ⑥ 食堂の従業員不足 [3]    ⑦ お代わりできない [2]
- ⑧ 遠距離により朝食提供なし/食事時間融通希望 [7]    ⑨ 他 [9]

#### ○自由意見

- ・金額の割によくないという意見がいくつかありました。
- ・特に食事についての要望等はない。概ね満足していた。
- ・配宿先によるかとは思いますが、あまりいい話は聞けなかったです。試合に参加している選手のことを考えて、改善を強く望みます。(陸上競技)
- ・種類も豊富で栄養バランスも良く、申し分のない内容でした。過去に配宿された宿舎の中で、最も満足できました。(新体操)
- ・競技会場から遠い宿舎の場合は、もう少し朝食時間を早くしていただくなどの対応があるとよかったです。(ソフトテニス)
- ・朝食はビュッフェスタイルで内容もよかったが、夕食は弁当だったので量が足りなかった。夕食もビュッフェスタイルにしてほしかったです。(ソフトテニス)
- ・民泊であったが、宿泊料金相応の内容ではなく、大変不満でした。(ソフトボール)
- ・大変ボリュームのある内容で、生徒も満足していました。(相撲)
- ・非常に満足いく内容でしたが、1日置きに同じ内容の食事だったことについては、やや不満でした。(カヌー)
- ・高校生アスリートの食事として少なかつたとの意見があった。
- ・競技によっては、コロナ禍なのに円卓での食事に戸惑いを感じていたようである。
- ・宿舎決定をもう少し早くしてもらえると、参加する側も運営側も助かるのではと思います。選手は計画書への記載(審査の対象)、運営側は計画輸送の計画を立案など。顧問は切符の手配など。
- ・今回は監督リーダー会議が8月19日で、宿舎決定が8月10日でした。お盆を挟んだこともあって時間的に大変でした。
- ・初日のホテルの食事は値段の割に全く食べられなかった。お代わりもできなかった(バスケット男子)
- ・大宴会場で5校一緒に食事ということに抵抗がありました(ソフトテニス)。
- ・とにかく参加者の目線で考えてほしい。運営者や儲けなどが優先されており、教育的ではない。相手が学校(教育機関)だからってお金だせると高をくくっている(卓球女子)。
- ・2日でワンサイクルの食事メニューであった(ハンドボール)。
- ・朝食が最悪だった。金沢駅ビルで利用できる夕食のグルメチケットにして欲しかった(剣道)。
- ・コロナ禍下なので、朝食での「バイキング形式」は避けて欲しかった(ホッケー)。
- ・コロナ禍にあってバイキング方式はいかかなものかと思った(登山女子)。
- ・朝食のお弁当の量が多かった(フェンシング)。
- ・主菜・副菜を合わせて6品程度の朝晩とも代わり映えのしないバイキングであった。今回、感染対策上初めて夕食を宿舎で摂ったが、修学旅行と比較するとかなり劣る内容であった。通常時そのホテルでは夕食を定食形式で提供しており、今回の喫食人数が全館で20人程度であったことを考えると、感染対策上も何故バイキングとしたのか、疑問。
- ・一部の宿舎で例年に比べて食事の質、量が足りていなかった。育ち盛りの高校生に提供する食事ではないと正直思った。宿泊先に申し入れて後半は改善された。
- ・3泊したので、朝食のメニューが少し変わってくれるのもっと良かったです。

- ・食事時間や人数の変更は融通がきいたためありがたかった。
- ・ホテルによっては夕食無しでグルメチケット、というところもありましたが、周囲のお店で使えないところも多く、困ったようです。
- ・ほとんどの参加校から①良かった という回答をもらっているが③④⑥のような否定的な回答もあった。
- ・料金と宿舎のランクが合っていないように感じる。
- ・選手の栄養価が考慮されてない。できる限り6時からの朝食提供に協力してほしい。
- ・「質、量とも朝食から十分満足」という意見が多かった。
- ・「朝食の時間について、もう少し早くしてほしい」という意見あり。
- ・「宿泊代金が高いにもかかわらず、食事がお粗末である。」「値段に見合っていない。」「素泊まりと比べ、2食で3000円以上プラスとなる。非常に高い。勝手に食べた方が安上がり。」「という意見あり。
- ・他チームからの苦情が多かった。(ハンドボール)
- ・茶色のものが多すぎます。(少林寺拳法)
- ・夕食なしだったので、コロナ対策をしながらの夕食手配が毎日大変で大きな負担だった。(空手)
- ・早朝でも対応していただき、有難かったです。
- ・宿により、食事時間を対応してくれたところと、そうでないところがあった。
- ・弁当の注文ができるようにしてほしい(コロナの関係で夕食なし)。
- ・会場との距離→朝食がとれない、朝食時間の変更(5時半〜など)。
- ・おかずの量が少ない宿や居酒屋スペースでメニューもマンネリ化していた。
- ・愛知県高体連の役員が宿泊した宿は、朝食開始時間を5時45分とバスの送迎に合わせ早い時間に対応してくれた。これには感謝している。なお、バイキング形式であったが、おかずの品数が少なかったように思う。
- ・朝も夜も弁当でしたが、内容はよかったです。(バドミントン)
- ・朝食は良かったが、夕食がついてなく、グルメチケットを購入したが、近くに使える飲食店がなく不便であった。(バレー)
- ・低料金であれば、食事に苦情は無いと思いますが、値段の割にひどい。(登山)
- ・メニューに野菜がほとんどなく、ご飯とスパゲティなど炭水化物が2種あり栄養バランスに偏りがあったので、熱中症対策や免疫力維持のための試合後の回復のために改善していただきたい。(カヌー)
- ・コロナ対策が全くなされず、最低でした。(ハンドボール)
- ・朝食は時間を融通してもらえなかったため欠食となった。夕飯は合宿のようなご飯だった。炭水化物、肉、油!!!コンディションを整えるために野菜、乳製品、果物を出してほしいかった。朝夕食はさすがに宿舎でとりかかった。(水泳)
- ・朝食の時間を臨機応変にできるようにしてほしい。特に早朝。(ソフトボール)
- ・コロナ感染予防対策で仕方がないことだが、競技で疲れた選手たちに温かい夕食を食べさせてあげたかった。(陸上競技)
- ・コロナ禍で食事を分散して宿舎外の施設へ食べに行かなくてはならず、感染リスクが高まった。(ハンドボール)
- ・事前に連絡をして対応していただいていたのですが、アレルギーの対応ができていない料理がありました。(ホッケー)
- ・始発のシャトルバスに乗車する都合で朝食を食べる時間がなかった。
- ・Aランクの金額を支払っているにもかかわらず、朝・夕ともにバイキングでメニューが毎日変化がなかった。(カヌー)
- ・新型コロナの影響で仕方がないが食事については不満あり。(弓道)
- ・蔓延防止措置が適応され仕方がないこととはいえ、宿泊者のみに開放していたレストランも20時まで営業終了が指示されたようで、5団体が宿泊にも関わらず時間制限が入り、ビュッフェを30分で準備〜片付けまでと、厳しい食事となった。そのため、十分な食事が摂取できなかったと考えられる(バレーボール)
- ・ひどいとまでは言いませんが、値段の割に高いように感じました。(柔道)
- ・かなりの量とメニューが重たかったため、2、3日目になると選手は食べ切れていませんでした。新型コロナウイルス感染症対策として、食事は宿泊所で対応したいと考えておりましたので助かりました。しかし、宿泊

料金に対して夕食料理の内容が……。特に生徒達からの不満の声は聞いていませんが、保護者に理解をお願いする立場としてはもう少しご配慮いただけたらありがたかったと思いました。(少林寺拳法)

- ・朝食バイキングでしたが、6:30 から対応していただきました。3泊でしたが、朝食のメニューを、もう少し変えていただくとありがたいと思いました。
- ・朝食会場の広さ。混雑した場合食事をとることもできない。
- ・コロナ対策もしっかりなされていてよかったと思います。バイキング形式もよかったです。ただ、朝と夜のメニューがほぼ同じだったので夜は「メイン」があれば一層よかったです。
- ・地元の料理が提供されていたので良かったと思う。
- ・バイキングでよかった面もあるが、値段の割に同じメニューが多かった。
- ・素泊まりとの差額を考えると、朝食と夕食合わせて5,000円ほどの食事でした。どう考えても、その価値はありませんでした(社会通念的にも、そのホテルで普段提供している料理と値段との比較においても)。また、食事時間について、同じ競技の選手が同宿しているわけですから、同じような希望になることは分かり切っています。そのなかで、時間を動かしてほしいという願いは、「本来は受けるべきではない、施設としてはキャパオーバーである仕事を、無理やり受けている状況」としか思えません。
- ・グルメチケットによる外食は危険と感じた。
- ・朝食が毎日同じメニューで困った。朝食のみで、夕食はついていなかったが、コロナ感染拡大の中、食事をとる場所がなく困った。
- ・生徒の大浴場使用を禁止された。夕食提供がなく時短での営業の為試合後の夕食までに焦ることが多かった。
- ・すばらし配宿であり例年不平不満をきいていましたが、一切聞こえてこなかった。
- ・冷めた料理が多かった。量は減らしてもいいので温かいものを提供したほうがいいと思った。
- ・早朝班で、朝食が間に合わない。日程が押して夕食時間に間に合わなかった。
- ・朝食時間の設定が遅い。
- ・弁当のような食事だったので改善してほしい。
- ・食事時間の融通がまったく利かなかった。しかも、他の宿泊者と混合混在したものだ。また、氷などをお願いしても分けてくれるような気遣いも無かった。(ソフトボール)
- ・コロナ禍とはいえ、食事の形式、質・量、高額など不満あり(剣道)
- ・バイキングであったが、毎日メニューが変わり飽きなかった。
- ・食事がバイキングであるのに、ビニール手袋やアクリル板等の準備がなかった。
- ・夕食が宿舎で食べられず、毎晩苦勞した。(バスケットボール女子)
- ・宿舎の朝食会場が渋滞していて、時間がかかった。(バスケットボール女子)
- ・毎朝食が同じメニューはさすがにきつかった。量も選べず、試合当日等は選手に影響が出る可能性もあった。(剣道)
- ・連泊になるのでメニューにもう少し変化は欲しかった。(弓道)
- ・内容が悪すぎる。キャンセル対応の時間が早すぎる。(予選結果が出る前に締切となる)(体操)
- ・朝食は栄養バランスが良く量も多かったが、夕食のおかずが足りないように感じた。(相撲)
- ・食事場所も対策(ビニール手袋、消毒、アクリル板の設置、等)がしてあり助かった。(バドミントン)
- ・夕食が食べ盛りの生徒にとっては、かなり物足りない。
- ・できる限りの対応をしていただきましたが、試合開始時間が早すぎて朝食対応が難しい場面があった。
- ・主菜、副菜の数が少なく選手のコンディションに影響すると思います。
- ・配膳など丁寧にしていただいた。(フェンシング)

#### 4) 弁当について

① 良かった [20]      ② 弁当配布時間の融通利かせてほしい [14]

③ 他 [25]

#### ○自由意見

- ・競技参加時間によって食べる時間がとれないことがあったので、融通を利かせてほしかった（ボート）。
- ・利用する学校と使用しない学校がある。
- ・ウォーミングアップや試合の時間と重なり、弁当を受け取りに行けなかったりするので、受け取り可能な時間帯を増やしていただきたい。（相撲）
- ・ご飯の量は多かったが、おかずの品数が少なかった。（相撲）
- ・選手にとっては、おにぎりなどの簡単に食べられるものも選べると良いと思います。（相撲）
- ・これまで経験してきた全国大会の中で、一番酷い内容でした。（カヌー）
- ・弁当の受取時間中に試合があり、受け取りおよび返却が難しい場面があったので、もう少し時間的な余裕があった方がよい。
- ・注文していない競技（学校）も多かった。
- ・複数競技より「融通聞かせてほしい」との意見をいただきました。
- ・弁当は別のところでたのみました（バスケ男子）
- ・食べられないケースがあった（バレー女子）
- ・会場のみでしか食べる事ができない上に、時間の融通もきかなかつたので、不便であった。そのため、申し込みをしていない（ハンドボール）。
- ・入場時間が制限される中、配布回収の時間が短く、食事ができない学校もありました（柔道）。
- ・配布場所と時間の工夫がほしかった。配布時間は短く、選手が取りに行けなかった（剣道）。
- ・会場への入場規制があったため、入場できない選手分のお弁当が無駄になってしまった。
- ・選手の栄養価が考慮されてない。
- ・「時間が遅くなり、弁当がもらえなかった(大会役員として参加)。」「弁当回収時間が早すぎる、試合の進行上、食べずに回収に出すことがあった。」「長く滞在すると、同じようなメニューばかりで、飽きてしまった。」という意見あり。
- ・「料金が高すぎる」「ネット上の宿舍のHPとの金額差が大きすぎる」等の意見多数あり。
- ・「高校生の大会としては、宿泊料金が高すぎるのではないか。」
- ・「上限12000円(税込み)を希望。」
- ・「申し込んだランクにはならず、非常に高いランクに配宿された。学校からの補助は決められており、勝ち進めば、自費であるため、出費がかさむ結果になる。」
- ・「なぜ割増し料金なのか説明が必要。」
- ・この暑さの中、試合終了後すぐに弁当を食べて、空き箱を返却することは、すごく無理があった。食の安全もあるが、融通を利かせていただけるとありがたい。
- ・競技中に食べやすいもの（おにぎりや小分け）が良い。
- ・試合時間によってキャンセルしなくてはならず辛い（ギリギリのキャンセル）。
- ・会場でももらえないケースもあった。
- ・大量の弁当を安全に配食する都合上、仕方ない部分があるのだろう。良いとは言えない。（登山）
- ・前日18時までネットでキャンセル可能なのはありがたかった。（なぎなた）
- ・あと30分ずつ余裕があると良いと思いました。（10:30—14:30）（ソフトボール）
- ・学校からの補助金も限られているので、今回の料金がかなり高額であったため厳しい状況になりました。（ホッケー）
- ・毎年意見が出るが、生徒の宿泊費が高すぎる。（陸上競技）

- ・高校生の大会にしては宿泊料が高額すぎる。(ハンドボール)
- ・ホテルが普段宿泊している料金の倍額の設定もあり納得いかない。(ハンドボール)
- ・宿泊先が希望ランクよりかなり上位で高額となり、日に日に生徒の負担額が増えた。(ハンドボール)
- ・自チームで用意した。(バレーボール)
- ・遠征や大会では地元のお弁当が楽しみの一つです。申し訳ないですが、味も内容もいまいちでした。(バドミントン)
- ・弁当ガラ回収の時間が短くて試合後すぐ食べてぎりぎりの時間でなかなか大変でした。(少林寺拳法)
- ・昼食は自分で用意したため食べておりません。
- ・昼食の弁当を利用していない
- ・値段が高くて注文していない
- ・弁当を取りに行ったとき、弁当が無く待たされた。試合前で時間が無く、ほとんど廃棄した。
- ・価格が高いので購入していない。
- ・試合開始時間が読めないところがあり、弁当配布時間との調整がつきにくい。
- ・飛込では、食べる時間がなかった。
- ・弁当の選択、2種類選べたらいい。
- ・現状を把握していない。(陸上競技)
- ・弁当の申込や支払い方法がわかりにくかった。配宿予約の宿泊入力画面と同じページから入力できるとうれしい。(水泳)
- ・悪天候により競技時間が変更になる場合も多い。日程変更に応じて、弁当の返却については柔軟に対応していただきたい。14時返却を厳守され、食べられない生徒もいた。(カヌー)
- ・競技の開始時間と重なり食べられなかった。
- ・配布場所に長い行列ができ時間がかかった。雨の中、待たされた。(自転車競技)
- ・14:00 までの返却が決められていたが試合進行の関係で食べることができず、全て廃棄になった。食料廃棄防止の観点からもぜひ改善して欲しい。(バレーボール)
- ・食後の殻回収の規定が厳しく、大変だった。(剣道)
- ・弁当注文システムは有難いが、内容の割には割高と感じた。(バドミントン)
- ・競技時間の関係から弁当は頼んでいない。(フェンシング)

## 5) 料金について

- ① 相応の価格である [20]    ② 料金が高すぎる [27]  
③ サービスと料金が見合わない [11]    ④ 料金とランクが見合わない [28]  
⑤ 申し込んだランクと違う [8]    ⑥ 宿泊要項と配宿決定通知の金額が違う [0]  
⑦ 他 [2]

### ○自由意見

- ・「②料金が高すぎる」「③サービスと料金が見合わない」「④料金とランクが見合わない」が出場校のほとんどの意見でした。(陸上競技)
- ・料金は高額であったが、接客や食事などは大変満足できる内容でした。(新体操)
- ・料金は高額であった。(ソフトテニス)
- ・配宿された宿舎はAランクで、料金相応の食事やサービス内容ではあったが、希望したランクでの配宿をしてほしかった。(相撲)
- ・あまりにも高額な料金設定であり、さらに、ほとんどの学校が希望したランクの2ランク上の配宿となり、生徒や教員の自己負担が多くなった。(カヌー)
- ・ネットで普段の料金が見れるので、あの料金設定では皆、いやな気持ちになるのではないのでしょうか(アーチェリー)
- ・通常の倍くらいの料金はいかななものか(弓道)
- ・普段の3倍近い宿泊料金になっているところもあるので、適正価格でお願いしたい(陸上競技)
- ・高校生のスポーツの祭典であることから価格的に配慮していただけると負担軽減になる。料金を抑えることにより食事・サービスの質が落ちることは避けたい。
- ・少数であるが、料金が高いとの意見もあった。
- ・複数の競技から申し出がありました。
- ・本部宿舎については相応の料金でしたが、参加校から配宿センターによる設定料金と当該宿泊施設のHP等で提示されている通常料金との差が激しかったという訴えがありました。
- ・二日目以降は相応の価格であった(バスケット男子)。
- ・一般市場価格との乖離がある(登山女子)
- ・ホテルの公式HPで、通常7,440円(3月は12,600円)なのに、今回の支払額は15,200円であった。このような配宿で参加者の理解が得られるのだろうか。このことを全国高体連は分かっているのでしょうか(事務局)。
- ・業者を通すことで個人の申し込みをするよりも、非常に高額となり長い日程も重なり費用負担がご家庭ともに大きい。なんとかもう少し費用負担の軽減をはかれないものか?
- ・会場や駅が近いだけで宿舎や食事内容を見ると少し高いように感じた。
- ・ホテルによっては通常料金のほぼ倍の値段設定はいかななものかと思います。
- ・全体的に料金が高い。宿泊環境をよく考慮してランク付けしてほしい。
- ・苦情が数チームからあった。(ハンドボール)
- ・インターネットで普段の料金分かる為、どうしても比較してしまう。また、地元開催故に、地区大会と全国大会との値段設定の違いが明白に表れ、同じホテルランクに宿泊しても金額が大きく違う事に不信感が出てしまう。
- ・地元の宿にお金を落とせることはいいのですが、少しJTBのマージンとして持っていく額が多いのではと感じます
- ・通常金額との差が大きすぎる
- ・普段の遠征で、何度か利用している場所なので通常料金をしてしているため少し高く感じるが、仕方ない部分も

あるのかなと思います。

- ・開催地（県）によって、宿泊施設の質・量に差がある（例えば、観光地は充実している等）。毎年一律の値段設定に無理があるのではないかと。
  - ・インターハイとはいえ普段の1.5倍から2倍の料金。
  - ・入湯税が見積書に反映されないのは困った→後日差額を学校から支払い。
  - ・特に、カヌー（愛知県勢）の配宿について、希望していないAランクの宿舎と高額な宿になってしまった。
  - ・ホテルに聞いたが、普段より5000円以上高い料金で宿泊していた。（バドミントン）
  - ・希望していた金額設定でない宿泊施設での提示があった。（相撲）
  - ・宿泊料金が割高である。サービスが夕食に偏っていたと思う。朝食の時間を融通したり、他にも出来ることはあったと思う。毎回、普通に申し込んだ値段よりも高い印象があります。他との比較ができない。今回は保護者不可だからもっと会場付近に宿泊できるはず。（水泳）
  - ・ルートイン鯖江：ツイン1泊1人13,200円、いかがなものか。配宿センターにお任せしているが、改善策を強く希望します。
  - ・学校からの補助金も限られているので、今回の料金がかかなり高額であったため厳しい状況になりました。（水泳）【ホッケー】
  - ・毎年意見が出るが、生徒の宿泊費が高すぎる。（陸上競技）
  - ・高校生の大会にしては宿泊料が高額すぎる。（ハンドボール）
  - ・ホテルが普段宿泊している料金の倍額の設定もあり納得いかない。（ハンドボール）
  - ・宿泊先が希望ランクよりかなり上位で高額となり、日に日に生徒の負担額が増えた（ハンドボール）
  - ・申込みの際に希望していたランクと違ったが事前連絡があって良かった。
  - ・高額であるにも関わらず食事の内容がひどすぎた。（カヌー）
  - ・やはり、少し高いように感じます。ネットでの情報が入ってくるので少し不満を感じます。（柔道）
  - ・毎回各校よりももう少し通常の金額に近づけて欲しいとの要望あり（空手道）
  - ・シングル一泊二食にしては高額だと思いました。（少林寺拳法）
- いろいろと事情があるかとは思いますが、割り当てていただいた宿舎は大部屋（新型コロナウイルス感染症対策で不安）で夕食内容から考えると料金面において高額な印象がありました。
- ・アパホテル福井片町に宿泊しました。温泉があるのは良かったですが、福井駅から中途半端な距離で、雨のためタクシーを利用しました。温泉、朝食には満足はしていますが部屋が狭く、Aランクにするのはいかがなものかと思いました。JRが運休したため、延泊も考えましたが、延泊料金も朝食抜きで10,000円以上だったので、駅前の東横インを急遽予約しました。土曜の宿泊でしたが、朝食付きで6,000円、部屋も広く快適でした。朝食はお弁当でしたが、アパホテルと東横インでは料金の差があっても良いのではと思いました。
  - ・1泊2食を希望していて1泊13,200円でした。ただ、公式ホームページからでも同日7,000~9,200円の料金設定となっていて、夕食の定食代1,000円を載せても3,000円から5,200円の料金の開きがあり、毎年感じることで、一人でこれだけ上乗せするのは尋常ではないと思います。
  - ・宿泊したホテルのHPや、各種宿泊予約サイトで表示されている料金と、実際に支払った料金が、あまりにもかけ離れている。このような配宿を続けるのであれば、配宿については学校が関与しない形式にしてほしい（学校として、保護者に対して責任を負えない）。
  - ・斡旋での宿泊申し込みは高額になる。
  - ・価格があまりにも高すぎる。価格を吊り上げすぎている。自然の家が8800円なんてひどすぎる。
  - ・大会なのでこんなものだと割り切っています。
  - ・今回無観客のため保護者などが事前に予約していたホテルがキャンセルのため、福井市内のホテルの空きが多々あった、料金が全く違いホテルを移動した学校が多々あったが、仕方が無いのかなと感じてしまった。例；競技場まで60分、12000円の旅館が、市内ビジネスホテル2食付き6800円に移動した学校あり。（陸上競技）
  - ・ビジネスホテルの配宿で、料金は通常の倍近くし、サービス・配慮・融通がない。料金については、各県で違いはあると思うが、もう少し生徒の負担が無いような料金（価格）でランク内も統一したものにしてもらいたい。（ソフトボール）
  - ・料金設定が高く、料金に見合った部屋が提供されていない。（柔道）

- ・宿泊料、宿舎の食事の料金等が高すぎることはどうかしてほしい。(剣道)
- ・インターハイの宿泊料金が一泊 15,400 円の設定は如何なものかと。高すぎます。(空手道)
- ・宿舎の値段設定が高額であった。(Dランクを希望したが、Bランクの配宿であった。Eランク以下は2施設しかなく、Dランク以上との質の差が激しいため希望し難かった。) カヌー競技では少なくとも5泊以上の長期滞在となるため、生徒にはできるだけ条件の良い宿舎に滞在させてあげたいと感じているが、宿舎の値段設定には配慮していただきたい。(カヌー)
- ・宿泊費が現金払いのみとは知らず困った。他校の先生は大金を持ち歩くことになり、大変不安を覚えられていた。(空手道)
- ・学校から出る宿泊費の限度額を超えている。(バスケットボール女子)
- ・料金設定が不明瞭(通常の宿泊に比べて2倍ほどであった)
- ・ランクには会場までの距離等も含めてほしい。

## 6) 宿舎について

- ① とても良かった [25]
- ② 宿舎の対応が良かった [30]
- ③ 相部屋への不満 [15]
- ④ 一人当たりスペース狭い [6]
- ⑤ 転宿への不満 [4]
- ⑥ 部屋への不満 (かび臭い・ハウスダスト等) [12]
- ⑦ 設備不良 (エアコン・給湯・トイレなし等) [3]
- ⑧ シーツ・バスタオル・浴衣交換毎日でない [4]
- ⑨ 部屋に鍵がない [1]
- ⑩ シングルルームにベッド3 [1]
- ⑪ 宿舎が遠距離であることへの不満 [22]
- ⑫ 交通機関の不足 [10]
- ⑬ 他 [6]

## ○自由意見

- ・とても良かった (剣道)
- ・シーツ・バスタオル・浴衣交換毎日でなかった (陸上競技)
- ・相部屋への不満 (ボート)
- ・宿舎の対応が良かった (弓道・剣道・アーチェリー)
- ・交通機関の不足 (弓道・アーチェリー)
- ・車が通るたびにゆれて具合が悪かった (弓道)
- ・宿舎が遠距離であることへの不満 (アーチェリー)
- ・相部屋で密になり、宿泊先を変更した種目がありました。
- ・特に宿舎についての要望等はない。概ね満足していた。
- ・配宿については全国高体連含めて検討していく時期ではないかと感じます。簡単なことでは無いと思いますが、多額の料金に対しての内容があまりにも乖離していると感じました。多くの種目を対象にしているため、当然厳しい点は理解しますが業者を増やす等、選手優先のサポート体制をお願いしたいと思います。【陸上競技】
- ・丁寧な接客がとてもよかったです。(新体操)
- ・競技会場まで、片道1時間以上かかる配宿は大きな負担でした。(ソフトテニス)
- ・洗濯機の数が少なく、困りました。(ソフトテニス)
- ・貸し切りの宿舎だったので、一般客との接触がなくてよかった。(ハンドボール)
- ・年々、料金が上がっているとの声を多数聞きました。インターネットで検索した料金との差があるのはある程度仕方ないが、乖離が大きすぎると感じます。(ソフトボール)
- ・良い宿舎ではあったが、希望ランクを優先させてほしい。(相撲)
- ・宿舎に不満はなかったが、宿舎と競技会場が違う県であり、移動方法の変更などの対応を余儀なくされた。(ウエトリフイング)
- ・宿舎の対応は悪くはなかったのですが、エアコンなし、給湯は風呂場のみ、トイレ・洗面所・冷蔵庫(小さいもの)共用。トイレは和式が主で、洋式は一部(和式に合わせた作りでとてもせまい)、という環境で、選手たちからは最初とまどいの声が上がっていました。(少林寺拳法)
- ・宿舎の方の対応はとても良かった。しかし、旅館の宿泊で一部屋に4人から5人の窮屈な状況で配宿されコロナ感染症が心配された。また、食事についてもコロナ対策がなされておらず、コロナ感染症が心配された。
- ・宿舎の対応が良かったとの意見が多かった。
- ・宿舎から競技会場まで1時間かかるが、出発地から大会会場を通り過ぎて、遠方の配宿先でなおかつ、料金も競技会場近辺の料金より高額なのは納得できないとのクレームを受けた。競技ごとに配宿先を固めるのも致し

- 方ないが、競技会場を中心に出発地に近い側への配宿や、距離に応じた値段設定も検討してほしい。
- ・競技特性（競技時間）に応じて配宿を考えてもらいたい。または、変更可能にしてもらいたい。
  - ・第一種目、最終種目に出場の学校が、片道1時間や2時間の移動距離の配宿となった。変更の要望を出したが、全く受け入れられなかった。
  - ・配宿決定後にも柔軟な対応をしてもらいたい。
  - ・群馬県の公立学校はレンタカーや自家用車で遠征ができない。配宿の距離を考えてもらいたい。（陸上競技）
  - ・本部宿舎については問題ありませんでしたが、参加校から、このコロナ禍にあつて3名以上の相部屋には抵抗があった旨の訴えがありました。
  - ・本県では、県立高校（一部市立高校含む）の顧問は、生徒を車に同乗させることができず、移動は原則、公共の交通機関を利用しなければならない。しかしながら、配宿においては、車での移動を主に配宿先が決められ、本県では宿から会場まで片道2時間離れたところを配宿された参加校もあった。変更を依頼したができないとの回答だった。理由は色々あると思うが、なぜ、公共交通機関が主に考えられないのか。引率教員の交通費や参加生徒の派遣費補助等は、概ね公共交通機関で計上されていると思われる。また、引率教員と選手が同部屋に配宿されたケースがあった。すぐに対応してもらったが、配宿センターから事前に確認をお願いしたい。
  - ・配宿センターの対応についても書かせていただきましたが、とにかくコロナ対応でクラスターを起さないため、全国高体連・各専門部・実行委員会の皆さんが大変な思いをされている中、同じ学校でさえも相部屋に関しては神経質になっている状況で、同じ都道府県とはいえ他学校と大部屋に宿泊というケースがありました（陸上）。
  - ・二日目からは快適に過ごせた。初日はたばこ臭く、生徒は吐き気をもようしていた。また、部屋に風呂がなく、コロナ感染が不安だった。会場まで1時間かかり移動がたいへんだった（バスケ男子）。
  - ・同じグレードのホテルで差がありすぎる（バレー女子）。
  - ・高岡駅の配宿となりましたが、会場からの距離が若干遠く、特に朝は余裕がありませんでした。仕方ないことではありますが（卓球男子）。
  - ・仕方ない面もあるが、非喫煙者のため喫煙部屋はきつかった（登山女子）。
  - ・シャンプー、ボディソープが補充されない（フェンシング）。
  - ・福井の繁華街で、目の前がクラブやスナックが多く入っている雑居ビルというのは、青少年の健全育成上、疑問を感じる。
  - ・会場ではコロナ対策が徹底されていたがホテル内での対策が徹底されていなかったように思える。学校によっては大広間に宿泊、風呂トイレも共用という宿泊先もあったと聞く。
  - ・配宿の決定通知が遅かった。
  - ・会場から近い旅館ではあったが、バスタオルや歯ブラシ等のアメニティがなかった。また、屋の鍵もないため、重品の管理等が大変であった。さらに、手洗いやお風呂が共同であったが、掃等がされていない気がした。
  - ・学校によって、宿舎から競技場までの距離の差が大きすぎます。
  - ・個室対応で有ったので、安心して宿泊できました。
  - ・ベスト16に勝ち上がったと同時に、宿泊所を一番グレードの高いホテルに変更させられた。保護者に理解を得るのに困っている。
  - ・部屋数に限りがあるので仕方ないのですが、喫煙可の部屋だったため（選手も）できれば選手だけでも禁煙の部屋になるようにしていただければ、と感じました。
  - ・会場までの距離はありましたが、快適でした。
  - ・タオルは初日しかいただけず、部屋も毎日掃除した形跡がなく、冷蔵庫もなく、洗面所の衛生環境もよくなく、他にもありますが試合を控えている選手にとってベストとはいえない環境でした。コロナ対策にも疑問がありました。
  - ・マイクロバスを利用することを配宿センターに申し込んだ時に明示したのに、配宿されたホテルでは、当初マイクロバスの駐車はできないと言われた。配宿の条件の考慮がなされていないのではないかと。
  - ・コロナ渦の中で、生徒5人で1部屋だったのが大丈夫かなと感じました。でも、本当に良くしてもらえました。
  - ・配宿センターならびに宿舎のスタッフの方の丁寧な対応に感謝申し上げます。
  - ・夏場であり、部屋にエアコン、冷蔵庫の配置は必須である。宿泊施設の環境をきちんと確認し配宿先に選定し

てほしい。

- ・県内のある高校がエアコン、冷蔵庫なし、共同風呂で21時までという宿舎に配宿されたため、配宿センターに交渉し変更してもらうケースがあった。
- ・「宿舎までの距離が遠かった」という意見あり。
- ・「交通機関が不足していて大変だった」という意見もあり。
- ・「宿舎、宿舎近辺にコインランドリーがなく、毎日片道9000円近くのタクシー代がかかった。洗濯をする場所、施設は不可欠。」
- ・「部屋に冷蔵庫、風呂、シャワーがなかった。感染回避のため、大浴場を利用せず、生徒の部屋のシャワーを使うことにした。
- ・どのような基準で配宿決定に至っているのか、早い者勝ちかブロック割り当てなのか基準を教えて欲しい(卓球)
- ・お願いをしたことにはとても親切に対応してもらい大変助かりました。
- ・コロナの件もあるので、他の学校との相部屋は避けてほしいとの要望があった。
- ・虫が部屋に出て、宿で対処してもらったが・・・との意見があった。
- ・会場までの移動(電車移動と乗り換え)が負担。
- ・風呂、洗面所、トイレ共同でアルコール消毒なし。
- ・ランドリーの不足、女子用ランドリーがない→洗濯代の追加。
- ・喫煙利用の部屋で臭いが強くコンディションに影響した。
- ・愛知県高体連の役員が宿泊した宿は、電車の駅から遠く、公共交通機関がない。
- ・毎年、宿舎の方の対応は良いです。価格が高い。(登山)
- ・喫煙部屋に部屋割りされ沢山の選手が体調不良となった。(ハンドボール)
- ・コロナ禍なので、できれば全員シングルがよかった。(剣道)
- ・宿舎よっての格差があまりに大きいと感じます。
- ・今回はホテル精算であったので事前に多額の入金がなく良かった。(ハンドボール)
- ・大会を通じて最終的に宿替えが起こるのは、調整面からも避けてほしい。(ハンドボール)
- ・配宿先は競技場からなるだけ移動距離の短い箇所をお願い致します。(自転車競技)
- ・コロナ感染症対策で相部屋にならないようお願い致します。(自転車競技)
- ・ホテルはシングルというリクエストに対応頂き、大変安心した滞在となりました。ありがとうございました。(なぎなた)
- ・宿舎から1時間半かかるのは厳しいと思います。(ソフトテニス)
- ・バスタオルやアメニティーがついていなかった。(レスリング)
- ・冷房が効かない、たばこの消臭ができていない等で部屋を変えていただきました。1回目はなかなか対応していただけませんでした。選手のコンディションにかかわることなので、残念な点でした。(弓道)
- ・公共交通機関を利用して、1時間以上は選手の負担も考えると遠すぎるように感じる。お風呂が男女入れ替え制のために気をつかい、入浴に時間がかかった。(空手道)
- ・どこの宿舎においても高校生の大会で大人数の選手が宿泊しているにも関わらず洗濯機が少なく乾燥機もなかった。監督会議の際、JTBに対して増設が不可ならばコインランドリーのマップを出すなどして欲しいと要望を出したが、不誠実な対応であった。その結果、夕方から町中のコインランドリーを各府県の選手たちが占拠するような形になり、地元の方から全国高体連に苦情が入り、最終日にその旨の通知があった。地元の方々のカヌー競技に対しての心証を悪くする結果となったが、この件については選手を責める事は出来ないと考えている。想定される事に対してのJTBの対応のまずさが招いた事案であり、その他の事案に対する対応からも配宿業務の事業者変更を強く希望します。(カヌー)
- ・害虫が多かった。(相撲)
- ・宿泊先の金額の希望と、会場までの距離の希望、両方が希望外でした。希望を通せないのであれば、斡旋ではないと思います。(ハンドボール)
- ・部屋がきれいで良かった。(ホッケー)
- ・可能なら選手部屋は禁煙部屋が望ましい。タバコのニオイが気になる。部屋に冷蔵庫があればよかった。周辺

の宿泊所が少なかったのかもしれませんが、男子6人部屋、女子8人部屋は新型コロナウイルス感染症への対策の観点としては不安でした。今大会への参加に際して、この点を留意すべき最重要事項と考えておりましたので・・・。(少林寺拳法)

- ・コロナ禍であるのに、相部屋、共同風呂・共同トイレであったのでコロナ感染の不安がありました。部屋が従業員部屋なのか、他の部屋と明らかに違う部屋だった。(アーチェリー)
- ・「例年、全国の出場校の保護者会などが数年前から各インターハイ会場のホテルを予約している。結果、配宿センターが宿を確保できず、遠距離の配宿となっている。今年は、無観客開催となったためキャンセルが相次ぎ福井市内のホテルがガラ空きとなり、他県の出場校で配宿をキャンセルし、市内のホテルへ移動する配宿違反の学校があり問題となった。」おそらく、陸上競技に止まらず他競技においても、配宿の前にホテルを押さえている状況があると思われる。そのことで、選手や監督の遠隔地配宿につながっているのであれば改善すべき点かと思われる。
- ・各チームの要望をすべて聞くというのは難しいので、何らかの苦情も出てくると思います。配宿は大変だと思いますが、各競技においてなるべく公平になるようお願いしたいです。それが難しい場合は、料金設定を安くするなどに対応が必要だと思います。
- ・男女の選手が宿泊しているのに、浴室が1つしかなく、毎日外の銭湯に通うことになり負担が増した(ウエイトリフティング)
- ・大変良かったです。気持ちよく宿泊できました。
- ・宿舎は良かったが、宿舎から会場までの距離(約40km)は考えてもらいたい。
- ・宿舎の対応の良さで遠距離・部屋等の不満が解消された。
- ・親切に対応していただいた
- ・夕食以外はこもることなく過ごせました。
- ・今回、開催地の関係上、致し方ない面はあると思うのだが、民宿の宿舎であり各部屋に外から施錠ができない部屋であった。セキュリティの関係上これは問題であると考えます。
- ・会場から宿舎まで車で1時間かかる。交通機関も他にない。FAX通信のみでなく、メール対応してほしい。
- ・コンビニが遠いことが不便であった。
- ・朝食時間について臨機応変に対応していただけた。
- ・宿舎が遠方の為、朝5時半に出発を強いられた。レンタカー移動できない学校にも配慮が欲しい。
- ・地域住民からの苦情あり。(マスクをせずに買い物している生徒がいる)・・・競技場内ではほぼ対策ができていたが、一部の学校の行動が全体の足を引っ張った感あり!(陸上競技)
- ・食事なし(朝食無料)宿泊料金が高かった。(新体操女子)
- ・食事の時に一つのテーブルにつき、1人で、向かい合わせは無く、1方向だけの徹底ぶりだった。時間の変更もスムーズに対応してくれた。(体操)
- ・宿舎の対応の悪さ(融通がきかない)が目立った。上記にも記載したが、朝食時に他の宿泊者と隔離がない。また、食事時間の変更も不可だった。宿泊料金も通常より高い割には、サービス・配慮に欠けると感じた。(ソフトボール)
- ・部屋のエアコンが効かない。(柔道)
- ・宿舎そのもの(部屋、サービス)はよかったが、高額であることと、食事が宿舎内でとれなかったのは大変不便を感じた。(剣道)
- ・大変親切に対応していただき、宿舎スタッフの方々の対応については満足している。しかし、コロナ禍の状況での開催において、6人1室での配宿となったことは不安であった。また、洗濯の対応ができなかったことにより、生徒は近くのコインランドリーに行ったが、他チームや他の競技団と重なり、不特定多数の人との接触が生まれ、取り合いの状況になっていた。大規模な大会を開催する際には洗濯等会場以外においても、コロナ対応を考えていく必要があると感じた。(カヌー)
- ・洗濯機がない。
- ・ミーティングルームがない。
- ・部屋の約半数が喫煙部屋だった。
- ・宿泊移動も選択肢がなく、多くのチームが感染対策のできていない宿泊施設に移動させられた。

- ・宿舎において、コロナ禍での冷蔵庫ポット等の共有は抵抗感があったが、スタッフの方は皆さん温かく対応して下さった。(フェンシング)
- ・宿舎の方々がとても親切な対応で心地よかった。(ボクシング)
- ・宿舎内のコインランドリーが洗濯機1台のみだったため、大変苦労した。(自転車競技)
- ・部屋のごみが初めの数日間回収されなかった。(ボート)
- ・インターハイ以外の団体が入っており、コロナ感染予防の面からも安心して過ごすことができなかつたし、団体が騒いだりしており迷惑であった。(バレーボール)
- ・会場までの移動に宿舎の送迎バスを期待していたが、ホテルがバスを所持していなかったため、利用できなかったことが残念だった。(ヨット)
- ・コロナ禍で配宿が大変だったと思うが、指導者はシングル対応だったが、選手らは4人で1部屋だった。(ボクシング)
- ・持込車両有りだったため、遠距離場所に配宿された感が強い。指導者の間では「事前調査に正直に回答した者が損をする」との声も上がっていた。宿舎が近隣で確保できる地域で開催すべき。(相撲)
- ・ホテルから会場への移動するためのタクシー予約が取れずにいた時にホテルの対応で車を出して頂き大変助かった。(ウエイトリフティング)
- ・例年より開催日が遅いためか、宿泊決定が8月10日であった。本県は学校閉庁の時期と重なり、学校や大会運営に提出する様々な書類作成ができない状況が生じた。時期が異なる場合でも早めに決定してもらいたい。(登山)
- ・精算について、初日にカード支払いができると確認したが、支払い当日に現金のみと言われた。急遽現金を準備して対応したが金額が大きいため、対応は統一してほしかった。また、駐車場代についても事前に説明がなかったが、支払い当日に突然言われた。(登山)
- ・1校だけ1泊もせずキャンセルした学校があり、本部から専門委員長にむけて注意があった。当該校に確認したが、宿泊申し込みの際「自動車の運転をしないため近くの宿舎を希望」としていたのに遠方で不便なところになったということで、数泊だけして変更した学校も含めやむを得ないことだったと思う。(陸上)
- ・会場に移動する際のタクシーの絶対数が少なく大変だった。(水泳)
- ・会場から距離はありましたが、宿泊階や食事会場など完全に他の宿泊客と分けてくださいました。とてもありがたかったです。ただ、他県の学校で県外に配宿もあり、広域配宿の場合の試合日程等は配慮すべきではと感じました。
- ・レンタカーを借りていたので困ることはありませんでしたが、指定された宿舎から会場へのアクセスは公共交通機関では難しかったと思います。
- ・宿舎から会場まで1時間以上かかる宿舎は考慮してほしい。
- ・公共交通機関が全くあてにならなかった。利用できなかった。

# 5 新型コロナウイルス 感染症関係

## ○自由意見

- ・コロナ禍の中での開催でしたが、開催県の実行委員会の皆様には大変お世話になりました。お疲れさまでした。
- ・いろいろあったとは思いますが、大会が無事に終了したことがよかったです。
- ・当日入場チェック、消毒などしっかり整備されていた。
- ・無観客であったのでスタンドなどでも混み合う場面もなく、ある程度ソーシャルディスタンスもできていたの  
で、感染の危険を感じるような場面はあまりみられなかった。(陸上競技)
- ・ボート競技の性質上、観戦場所が限られ、密になっている様子が見られた。(ボート)
- ・会場の動線が決められているのはよいが、すべて一方通行になっていたため不便だった。工夫の余地はいくら  
でもあったと思う(スタッフ不足で難しかったかもしれないが…)
- ・大会中、コロナの陽性者が出たことを知らずに会場に行き、足止めを食らった。十分考えられることなので、  
緊急連絡メール等の対応が必要だと思った。(剣道)
- ・タクシーが会場内まで入れたので、IDがなくても会場に入れたのではないか
- ・選手・監督のみ通行可と書いてありましたが、誰でも通れる状態でした。
- ・各校の意識の違いかもしれませんが、競技中以外でもマスクを外している選手もいました。
- ・表彰式のスペース確保のためかもしれませんが、弓具置き場は狭すぎだと思いました。都道府県ごとの割り当  
てなので、他県の選手等とも密に接することになりました。(アーチェリー)
- ・全国高体連から示された「令和3年度全国高等学校体育連盟実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防  
止に関する基本方針」を基に本県高体連にあった問合せに対応した。参加校まで周知されていない状況もあり  
事前の情報提供が必要であった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により参加できない学校・選手が出でてしまうことをある程度予想していたが、  
多くの競技・選手が出場権を得ながら涙を飲んだ事例があったことは残念であった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止についての考え方・取り組みについて「全国高体連からの指針」「各競技のガイ  
ドライン」等を事前に選手・監督・保護者・学校関係者に周知の徹底を図っておく必要があると感じた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度は中止となったが、今年度はコロナ禍であっても様々な対策・対応  
を講じて実施した。改めて確認した課題を今後に生かして欲しい。
- ・開催規模・内容を縮小の方向で見直し、新しいインターハイの在り方を検討することも必要と感じた。
- ・北信越インターハイの開催県各実行委員会、競技関係者等、準備・運営にあたった多くの皆様のご尽力に感  
謝と敬意を表したい。
- ・この厳しい状況下で開催に尽力頂き感謝ばかりです。どこまでやるのか？毎回大会開催をしながらも悩ましい  
部分を感じています。今後も悩みは尽きないと思いますが、努力していきたいと感じる大会でした。(陸上競技)
- ・会場入口での体温測定を行っていたが、外気温が高いため、体温計での測定結果が高く表示され、何度も測定  
をやり直ししていた。(体操競技)
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、安全・安心を第一に開催していただき、大変感謝して  
おります。本当にお疲れ様でした。(バスケットボール)
- ・感染症対策については、しっかりしていたと思います。対応に関わってくれた委員の方々、補助員の生徒の皆  
さん、ありがとうございました。(ハンドボール)
- ・辞退が1校出てしまったのが、非常に残念でした。感染対策も徹底されていたと思います。(サッカー)
- ・宿舍の感染対策が徹底されていなかった。具体的には、食事の際に生徒が配膳の手伝いを行い、終了時には残  
り物の回収及び食器集めを行うことになった。配宿センターに改善をするよう連絡したが、現場では女子の時  
にも協力していただいたのでお願いしたいとのこと。通常であれば協力する所ですが、コロナ禍ですので改善  
していただきたかった。配宿センターの方は申し訳ないとは言っておりましたが、民宿の方は普通の通りのよ  
うにやっているよう見受けられた。食事の席の間隔が十分に取られておらず、窮屈な状況での食事であった。  
感染症対策は全くなかったと思う。宿舍も1部屋に多数入れられての大部屋がほとんどで、早く宿泊場所を変  
えてあげないといけないと感じるほどであった。(ソフトボール)
- ・各会場にて入場制限等、厳しいチェックおよび管理が行われていてよかった。(テニス)
- ・開館時間のタイミングで体育館受付を通る際の混雑が気になりました。(フェンシング)

- ・コロナ禍の中、様々な場面での感染対策が素晴らしく、安心して大会に参加することができました。開催に関わった役員・地元の方々には開催に対してのご努力と絶対感染させない気概を感じ、感謝しかありません。ありがとうございました。
- ・さまざまな対策を講じての運営に感謝申し上げます。
- ・種目別のPCR検査を実施した場合の課題が今大会で検証され、協会・連盟との連携の仕方も含め、安全・安心でよりよい大会が今後開催されることを祈っています。
- ・コロナ禍の中、準備、大会運営大変だったと思います。大変お疲れ様でした。お世話になりました。
- ・各競技の激励や視察ができなかったため、それぞれの会場の様子はよくはわかりませんが、特別大きな問題があったとの声は聞いておりません。
- ・想定外のことが起こり得る状況の中で、大会が無事開催されたことは、今後の開催県に勇気を与えていただきました。
- ・なによりも、生徒たちの元気に躍動する姿に心から感動いたしました。心より感謝申し上げます。
- ・コロナ禍において開催にご尽力いただいた各実行委員会の皆様に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。
- ・県内の各競技専門部に聞き取りをしたところ、「対策・対応が厳しすぎる」とする意見がある一方で、競技によっては「十分でない」「より厳格に実施すべき」などの意見もあり、様々な受け止めがみられました。今後も手探りによる判断と対応が求められていくことと思います。
- ・無観客での開催は妥当だと感じました。
- ・人数が集中する会場にて人の流れをコントロールするには、それなりに役員の人数と事前の計画、シミュレーションが必要。開催県側の人手が根本的に少なく、そこまで手が回りきらなかった印象がある。開会式、閉会式などの競技以外で人が集中する場を設定する場合には、そこでの人流をどうコントロールするかを検討するため、競技会場毎に専門の担当者を設定しても良いのではないかと感じた。
- ・国内において新型コロナウイルス感染が拡大傾向にある中で大会運営となり、開催地関係者の皆様におかれましては、その御心労はいかほどであったかと拝察いたします。そのような中、各大会を開催していただいたことについては感謝の言葉しかありません。ただ、本県においても、残念ながら部内に陽性者が発生してしまったがために、選手本人が濃厚接触者にも該当しない状態で会場地に到着していたにもかかわらず、出場を辞退せざるを得ず、やむを得ず引き返してきたというケースが起きてしまいました。開催地自治体関係者の皆様から理解を得ながら安全に大会を運営するためには、懸念事項は最大限払拭しなければならず、当時の状況を鑑みれば、参加可否に関する判断基準も厳しくせざるを得なかったものと理解しておりますが、紙一重のところ、最終学年生徒の活動の集大成を発表する場が失われてしまったことについては「もう少し何とかできなかったのか。」と悔いが残る次第です。今後コロナ禍が収束しない中、大会を開催していく以上、この課題とは常に対峙していかなければならないので、このような悲劇が少しでもなくなるよう、知恵を出し合ってより最良の策を講じていけるようにできればと思います。
- ・配宿について、今年はコロナの影響により参加者がシングルルームの希望が多かったと聞いているが、希望に添えなかった参加者は、とても不安な大会となったと思う。本県もシングルの要望があれば最大限の配慮を配宿センターへ依頼したところ、1年以上前から提携宿を確保しており、例えシングルの空き部屋があっても対応できないとの回答だった。現代は近隣ホテルの空室情報をインターネットで検索できるのでシングルが空いている状況は容易に把握できる。それなのに要望が通らず不安を抱えながらの参加となるので、参加者に理解が得られない。次年度もコロナの対応は必要となると思われ、是非とも選手ファーストの考えのもと、最大限の配慮を切に希望します。
- ・この度、本学園のバスケットボール部の生徒に新型コロナウイルス感染症の陽性が1名判明したことにより、大会本部より出場辞退勧告を受けました。「大会運営・新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則り、大会運営上、従わざるを得ない状況と判断し、本校は辞退勧告を受け入れました。しかしながら、他の競技(バドミントン)では、部内に陽性者が判明した場合においても、「インターハイ出場選手が保健所の判断により濃厚接触者に認定されない」、「学校長が出場を許可する」ことにより、インターハイ出場が認められたということを知り、耳を疑いました。陽性者が判明した段階である意味有無を言わず辞退を勧告される競技がある中で、かたや保健所や学校長の判断を仰げば辞退を回避できる競技もあるというのは、公平性という観点からすると疑問を感じざるを得ません。競技の特性が当然ありますが、同じ高体連主催の大会において参加の判断基

準がここまで大きく異なるのはいかかなものでしょうか。次回の大会においては、大会出場に関する規定のご再考をお願い申し上げる次第です（バスケット男子）。

- ・卓球競技においては「声出しNG」というルールが設けられました。運営側も断腸の思いであることは重々承知の上ですが、東京オリンピックやプロツアー、Tリーグ等を観ている通常通りに大きな声を出して、自らを鼓舞していました。高校生スポーツだけなぜなのかというのが正直なところではありました。しかし、感染者を出さないという中で大会運営は本当に大変なものだと思いますので、致し方ないことであると思います。明確な基準があるわけでもないのに、最終的には「声を出した者勝ち」のような雰囲気を感じました。一日も早い終息を願っています。本当に大変な情勢の中、インターハイを開催していただき、運営いただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今回のバッドマナー案件で「声を出さず、席を立たずに応援」とあったが、他のスポーツなども見て知っているだけに納得いかず、なかなか難しいと感じる。実際に上位になるにつれて声を出しプレーをしている状況だった。この点は序盤で敗退した選手からすると不平等に感じ納得のいかないところもあるだろう。せめてプレー中の選手については、制限を緩和してはどうか。しかしながら、コロナ禍における大会のご苦労は大変の事であったとお察しします。大会を開いていただきありがとうございました。子どもたちにとって大きな経験、思い出となりました。来年度は以前のような日本一元気な大会が戻ってきてくれることを祈っています（卓球男子）。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中にあつて、テント宿泊、共同炊事を必須とする登山競技は、その内容を再考すべき時期に来ているのかもしれない。こうした中でも開催にこぎ着けていただいた現地の方々には感謝しかないが、男子生徒は体育館フロアを一定の区画に仕切った上での雑魚寝、男子引率教員はアリーナ内での雑魚寝、女子の引率教員は施設内常設テントでの2人1組による宿泊あるいは体育館での雑魚寝の選択、加えて男子引率教員は競技期間中入浴すら出来ないという状況は、危険性を増長する以外の何物でも無いのではないかと考えた。また、朝や夕方の全体集合では密状態を作りやすく、実際開会式や閉会式でのアリーナへの入場では、長蛇の列となっていた。登山競技に関する限り、生徒は兎も角、引率教員への対応はひどい一言で、無症状の感染者がいた場合にはたちまちクラスターとなってもおかしくない状況であったと思う。主催県である福井県には、高体連登山部所属校がわずか3校しかないため、競技ルールを厳守するあまり、教員への対応まで手が回らなかったのかもしれない。実際、緊急事態宣言発令中の首都圏から1日の陽性者が数十人程度の福井県に出かけるのは躊躇いがあったため、生徒へは事前に抗原検査やPCR検査を受けさせたり、さらにワクチン接種を奨励したりと、それなりの対策を施して出かけた。主催者からは現地で陽性となった場合、県内では入院出来ず、自力で居住地まで戻るよう指示があったが、生徒の中には自家用車を保有していない家庭もあり、必然的に引率教員が現地でレンタカー等を調達して帰ることを想定したものの、勤務校では教員が運転する自動車への同乗を禁止されていたこともあり、実際にそうなった場合にはどうすべきかを悩みつつ出かけたというのが実際であった（登山女子）。
- ・先が見えない中での準備、運営だったので、現地の実行委員会は本当に大変でした。大変、ご苦労様でした。
- ・大変厳しい参加基準でした。感染拡大防止という面で一定の理解はします。しかし、基準が厳しいゆえの懸念もありました。特に「チーム内に感染疑い者が発生した場合は3日前から辞退」の項目は、体調不良を隠して出場することを招いたのではないかと危惧します。チームに迷惑をかけたくないとの心理が相当働いたと考えられます。
- ・①感染者、②濃厚接触者、③感染疑いがあるもの辞退は当然として、それ以外の選手で参加できるとようにすべきだったと思っています。オリンピックやプロスポーツとあまりにも基準が乖離していました。教育活動の一環であるから同列に扱えないとしても、ある程度はすり合わせが必要なのではないでしょうか。
- ・無観客での開催のため、会場全体をシートで目隠しするなど、対策がしっかりとされていた。
- ・感染拡大状況が日々変化するため、判断が難しいことも多かったと思いますが、選手以外のサポート生徒の入場可能人数などが大会1カ月前でも発表されず、参加校にとっては対応が難しかったように感じました。
- ・入口での検温や会場内での手指消毒が徹底されていた。
- ・会場内でのマスク着用の呼びかけを何度もアナウンスしていたため、監督やコーチ、選手も意識してマスクを着用していた。
- ・会場内では扇風機等で換気を十分に行っていた。
- ・大会関係者の皆さんが非常に気を遣って準備をしてくださっていました。無観客で行われたために会場は密に

ならず、コートサイドの状況も選手・監督が気を付けた行動だったことや、審判員も注意喚起に立ったこともあり、大きな混乱やマナー違反もありませんでした。ただ、練習会場では多少密になる状況もあったようで、ひやひやすする一面もあったとのこと。会場が狭いので致し方ないのですが。

- ・大会4日前の陽性者判明のため、種目唯一の出場校全員が出場辞退となってしまいました。対応については残念ではありますが、やむを得ないものと受け止めています。今回は家族の陽性判定で濃厚接触者に指定された選手は検査陰性、濃厚接触者がチーム内に出た関係で参加者全員が検査を受けたところ、その中から陽性者が出てしまったという事態でした。
- ・本件においてコロナ対策がうまく機能したことは確かですが、症状が出ていない選手の中にも感染者はおり、感染者すべてを把握し管理することは非常に困難であることも証明されたのではないかと思います。現行の規制では、感染していても無症状で検査対象にならなかった選手は出場できてしまいます。問題は、たまたま検査対象になって陽性が判明した人（とそのチーム）だけが出場できなくなってしまうという点です。また大会中に感染があっても、その後症状が現れなければ検査も行われず、追跡されることもありません。大会中の感染を証明すること自体がかなり困難であると思いますが、万が一大会の中で感染していても、無症状の感染者は気付かずにそのままいつもの生活の続けることとなります。参加校に対し事前事後のPCR検査とその結果報告を義務付けるのが、最も厳密かつ公平な方法かもしれませんが、小さな大会も含めてこうした対応を行うのは現実的ではありません。またそれだけの対応を行っても完璧な対策にはなり得ないでしょう。結局、落としどころをどこに持っていくか、という問題なのかもしれません。
- ・無観客および関係者の毎日の健康チェックによる入場規制は、感染症対策としてはよかったと思います。参加校は安全に参加できました。
- ・柔道競技は、選手全員にPCR検査が義務付けられており、選手はもちろんのこと検査に立ち会う関係者にも大きな負担となったが、「安心・安全」「感染を拡大させない教育的配慮」「高校生から夢を奪わない教育的配慮」（安易に大会を中止にしない）を実現させた素晴らしい大会であったと感じた。現地での徹底した感染防止対策に敬意を表したい。開催地の強力なご尽力と運営に携われた関係各位に心より感謝申し上げたい。
- ・選手、役員などの入館の際には多くの人を使い、健康チェックや導線の確保等、感染症対策が十分とられていたと思います。
- ・webでの健康チェックによる「入場許可証」の発行はとてもよかったと感じるが、出場校の紙ベースでの「来場者一覧」については、選手、監督、ベンチ入り指導者、トレーナーが必ずしも一緒に来場することがないため、意味がないのではという意見を耳にした。
- ・入場制限をかけ、IDによる確認をよく行っていた。来賓・視察は極力控えてもらうことになっていたが、日本連盟関係者で大学の監督をしている方が数名見受けられたが、どうなのかと思った。
- ・放送による注意喚起を定期的に行っていた。
- ・学校関係者の感染に対しての助言を実行委員会の方が丁寧に対応していただいたと連絡を受けている。
- ・大変な状況の中、行届いた対策に感謝いたします。（なぎなた）
- ・変異株拡大の中、今まで以上に運営が大変であったと思います。この中でも開催をしてくださり、選手たちにとってはとても良かったと思います。（ハンドボール）
- ・入場制限など非常に厳しい制約もありましたが、それがあったからこそ安全な大会になったかと思います。（ウエイトリフティング）
- ・感染症対策は徹底されていたかと思います。（テニス）
- ・会場、運営、宿舎ともに安全対策がしっかりされていました。（弓道）
- ・大会関係者の皆様のご尽力のおかげで無事に大会が開催されましたことに感謝します。感染対策は厳重であったと思います。（男ソフトボール）
- ・会場は屋外でしたが、観戦の時には人が集まりすぎていましたので、放送で呼び掛けてもなかなか移動が難しいと思いますので、事前にスペースの制限や、そこに人員を割くなど、最初から密にならない観戦体制が必要だと感じました。（男ソフトテニス）
- ・配慮されており生徒も不安になることなく競技に集中できました。様々なご配慮ありがとうございました。（弓道）
- ・幸い宿泊したホテルは丁寧に対応してくださり、心配はありませんでした。ありがとうございました。（陸上）

- ・各会場において、最善の感染防止対策がとられていたのではと思います。特に補助役員の生徒の働きぶりに感動しました。
- ・会場内および周辺が密にならないよう入念な工夫がされておりよかった。体調不良者、濃厚接触者等への聞き取り調査などの対応は実行委員の先生方だけでは負担が多く、専用ブースを配置し専門スタッフが対応するのが理想的であると感じた。
- ・選手が感染や濃厚接触者等に該当した場合、他の選手らの出場にどう影響するかの判断に関するルールを再確認しておくべきだと感じた。競技ごとに異なってはいけないと思うので。
- ・多くの大会で十分な対策がとられていたと思う。
- ・感染対策は充分とられていたと思われるが、コロナ禍で開催する初めての大会であり、これで良かったのかは今後の検証が必要。
- ・とにかく開催出来て良かった。
- ・出場の可否について検討すべき。安全な大会を目指す運営側は厳しくならざるを得ない。選手を優先すると感染が心配な状況である。
- ・補助員の確保が問題。大会期間中に補助員から陽性者が出てしまうと、大会自体の中止も検討する必要があり、対応が複雑。大会が近くなり、感染拡大により保護者の同意がとれない補助員も多数いた。
- ・各地域、各都道府県、各学校でもコロナへの対応が違うことから、感染対策は複雑多岐にわたる。難しい課題になると思う。
- ・陽性者が発生した場合、施設の消毒などが必要となり、また、濃厚接触者等の選定にも時間がかかる。その際の大会運営についても、検討しておく必要がある。
- ・感染対策費用が多額。今後も負担になると思われる。
- ・事前にPCR検査を実施する競技もあったが、その検査費用についての取り決めが必要。開催地で負担する場合もあれば、個人や学校での負担など様々なケースが見られているのではないかな。
- ・宿舎はできるだけ一人部屋をお願いしたかった。
- ・食事がバイキング形式となっており、手袋などの対策はしていたが、他校との接触をさせるため、時間制にするとか、部屋への持ち込み可能などと言った方法も考えても良かったのではないかな。
- ・かなり暑い日が続き、コロナ対策と熱中症対策の両立が難しく感じた。(ソフトボール)
- ・ワクチン接種における副反応に関する検討がなされていないので、検討をお願いします。自治体によっては接種の日時に融通がきかないこともあり、接種後に副反応が起きて、発熱し新型コロナ疑いとみなされるのはどうかと思います。(少林寺拳法)
- ・競技会場入口が狭く、混雑していた。換気の時間が設定されていたが、実際はされていないと思う(卓球)
- ・最終日は参加者だけが会場入りになったが、その連絡が最終日の朝に入ったので試合だけ見ようと思っていた人は無駄な宿泊をしていた(卓球)
- ・大会当日の朝、全員の発熱がなく、無事会場入りできるかどうか、という一番の課題を乗り越えるために、最終日の前日夜までとにかく気を張った。その為、夕食が付いていないホテルでの、毎日の夕食手配の負担が大変であった。また、無観客開催のため、保護者はインハイTVだけを楽しみにしていたにも関わらず、配信が途切れ、見られなかったことが残念でした。
- ・今年は感染症対策で会場入り時間や練習場所・時間を徹底的に管理されていた。最初はどうなることかと思っていたが、全チーム公平に、そして会場の混雑もなく実施されており、安心して参加することができた。無観客やお土産ブース削減は寂しかったが、たくさんの方々のご協力により大会が開催されたことに感謝しています。ありがとうございました。
- ・感染者が出なかったから良かったですが、ガイドラインは厳しすぎると思います。よっぽどオリンピックの方が緩いというか選手のためを考えてくれるように思います。
- ・無観客は正解だったと思う。通常と比べて会場内は人が少なくて良かった。練習会場を換気・消毒する時間を作ったのはいいが、試合直前に練習できないこともあり、時間の設定をもう少し考えた方が良かった。
- ・開催期間中、感染者が出ずに良かった。様々な対策、対応ありがとうございました。
- ・大変な中での大会でしたが、何とか開催ができて良かったです。(陸上)
- ・色々対策をしていただき開催中にコロナ感染者が出ずに良かったと思います。(ボート)

- ・来場者の感染症対策が徹底されていた。
- ・無観客ではあったが、観戦していた保護者が多数いた。(本校も含めて) 我が子の晴れ舞台を観戦したい保護者は多数いるため、無観客は現実的ではない気がします。むしろしっかり感染対策をして、観客席に入れた方が安全かもしれません。
- ・コロナ対策で試合会場への入場制限があったため、生徒は常に外のテントで待機させられていました。気温が高い中、つらかったと思います。(相撲)
- ・ヨット競技は毎日の検温・体調のチェックシート提出等で対応されており、対策は十分であったと感じている。今回仕方ない部分もあると思うが、売店が一つも出ていなく折角出場したにも関わらず様々なものを購入できず残念であった。ネットで購入できるとの事であったが、なかなか購入には至らなかった。またヨット競技のみだけかもしれませんが、例年大塚製薬から提供される水分がなく、大会側から粉末のポカリスエットと水を1日2本の提供のみであった。選手がある程度自由にもらえるような工夫ができればよかったと思います。
- ・無観客試合を想定していたので、事前にソフトボール独自のインスタIDを作成し広報活動に努めた。最終的には2000人以上のフォロワーが集まったが、試合当日にインハイTVがあるからとの理由でインスタLIVEの許可が下りなかったが、今後の柔軟なSNSの利用を運営として変化をつけていくべきだと思います。(ソフトボール)
- ・県高体連専門部校(坂井高校)の専門部長・専門委員長の並々ならぬ、ご指導を頂き感染症拡大防止等に関する基本方針を徹底し、また、ウエリフ競技感染防止対策ガイドラインをも配布され、徹底した対策を講じて開催出来たと感じる。特に、受付業務をさせて頂いたが、開催前日での打ち合わせにおいて、入場制限では事前周知事項を徹底した事もあり、開催期間大きなトラブルもなく終了する事が出来た。
- ・登録者以外入場できなかったが、大きな問題も無く、スムーズでもあり、大変素晴らしかった。
- ・全国選抜大会(フェンシング)と同様にアプリを使っての行動確認はできなかったか。
- ・朝の開場前の入り口や開場直後の入り口がどうしても密になってしまう。難しいところではあるが、何らかの対策が必要だったのではないかと。
- ・競技会場併設の練習会場では、当日の試合のある選手以外は練習できないとなっていたが、実際行っている選手もいた(1日目)。徹底するのであれば、入場チェックが必要ではないか。また、そのようにするのであれば、どのように行うかを周知してほしい。
- ・練習会場は、普段のインターハイと変わらず、密な状態であった。
- ・消毒のために時間を区切って一度退出することがあったが、通路で待機する選手が、やはり密な状態にあった。廊下待機の選手を減らす面と、選手コンディションの面から消毒の時間は試合進行と時間を合わせた方がよいのではないかと。(一律の時間とするのではなく)
- ・開会式、監督会議をリモートで行うなど感染対策をしっかりしていました。(リモートで行う事により、ロード競技だけに参加する生徒は、競技の前日に開催場所へ移動することが可能となりました。)
- ・競技場に入場するたびに、検温を行うなど徹底していました。
- ・観客席も、離れて座るように椅子に×印をつけてありました。
- ・選手村(待機場所)は、仕方がないと思いますが混み合っていました。
- ・上記にも記載させていただきましたが、日々刻々と変化するコロナ禍の中、長年に渡り、準備を進めて下さったすべての方に感謝しております。
- ・昨年は、インターハイ中止ということでとても悲しい思いをした高校生が多数いる中で、今年も中止するか否かという難しい選択が迫られる中、高校生の思いを最優先に考え、「無観客」によるインターハイ開催が実現できたことは、とても良かったと思っています。
- ・人数制限したが、会場が広くなく応援席が密状態であった
- ・大雨→テント内が密になった
- ・熱中症の心配はなかった
- ・宿舍の食事中、2・3校が一緒→黙食の徹底をしたが、緊張がゆるんでいた場面
- ・運営に感謝しているが、大会後の感染に不安
- ・開催県の関係者に感謝
- ・食事の対応の指示が会場役員によって違っていた

- ・補員の仕事内容がよくわからなかった。
- ・安全に考慮された大会→参加できたことに感謝
- ・ホテルで別の競技のチームがマスクなしで大声で食事→顧問はその場に不在
- ・スマホ使用の体調不良チェックと入場許可証の連動は素晴らしいアイデア
- ・開会式指定→大会期間中も指定でよいのでは
- ・夕食のないホテルは弁当の対応があってほしい
- ・コロナの感染リスクの観点で当日のホテルキャンセル代金はどうにかならないか
- ・大会期間中の宿泊がジオアリーナで広く安心した
- ・チーム帯同係が誘導指示→入れ替えや消毒がスムーズであった
- ・ベンチ外の応援にもチーム担当がつき大声を出さないように対応
- ・旅館で体温計やアルコール消毒液がしっかり設置
- ・競技終了後、退場しない学校があった
- ・観覧席がブロックごとに分けられていたが、制限を守っていない状況があった
- ・各競技、感染症対策を講じ適切に対応がされている。
- ・同時期に開催されている高校野球と対応が違い（観客制限）、不満を感じている保護者が多い。同じ高校生の大会ならば、基準を統一させる必要があると感じる。
- ・登録選手以外の部員についての入場可否について、開催県により対応発表時期が異なり、宿泊申し込み等の関りで対応に困った。
- ・対応が本当に大変だったと思います。お世話になりました。ありがとうございました。  
(空手道・バレー・自転車)
- ・競技の対策は適切であったと感じられる。制限をかけながらもほとんどの方が協力していたと思う。競技進行についてもスムーズであり、大きな問題もなく取り組めていたと感じる。宿泊施設では、施設の方々の対応はとても適切であったと感じられる。しかし、感染予防の点から考えると6人1部屋や対面での食事など対策を考えなければいけない部分もあったかと思う。(相撲)
- ・宿舎について、多くの学校とトイレ・洗面所・入浴の全てが共同の宿舎が選択肢に入っていたが、コロナ禍での開催なので、値段を優先してそれ(全て共有)でも良いのか、値段が多少上がっても良いからそのような宿は絶対に避けるのか、選べると良いと思った。(なぎなた)
- ・コロナ禍で、宿泊に関しては色々とお配慮いただき、ありがとうございます。快適に過ごせました。感謝致します。(ボート)
- ・会場での役員さんが把握してくれていることが少なく事前に受けてた連絡通りに出来ないことが会場側の問題として多くあった。(サッカー)
- ・出られない選手がいるなかで、大会が進んでいくことに違和感を感じた。(ヨット)
- ・アパホテル福井片町は考えられない状況で酷すぎた。(ハンドボール)
- ・徹底した対策をしていただきありがとうございました。大会が開催され、最後まで実施されたことに感謝しております。(剣道)
- ・コロナ、豪雨と長野県は大変な状態であったが、それでも対策を講じて生徒が力を出せる場を提供して頂きありがとうございました。全国から集まる競技会であるため完全にリスクを取り除くことは出来ないが、プールの利用時間の制限、控え場所のブロック割り、食事スペースの提供(食事スペースが満員で利用できなかったが…)など感染対策は良かった。ただ、引率が一人で日程の違う複数の選手を抱えると今回の対策は非常に不便なことも出てくると思うので、そういう意見を吸い上げて、来年はマイナーチェンジしていってもらえればと思う。実行委員会の皆様、お疲れ様でした。会場での対応には安心できました。翌日レースの選手が何時から受付可能か、また当日の受付開始時間や控室使用開始時間が事前に分からなかったのが残念です。コロナへの対応のため2年前までと全く異なり運営は非常に大変だったとは思いますが、公共交通機関を利用して移動するため詳細が事前から分かるとう助かります。食事の際、選手が多くなり密状態(バイキング形式のため取る箇所が少なく、固まっていた)になっていたが、お願いしたら改善されたのでよかったです。スポーツ団体を取り扱う上で、コロナとか関係なくスムーズな食事を心掛けてもらえると凄く助かります。また、同じ水泳競技としても競泳と水球は競技会場が違い普段接触する機会はほとんど無い状態ですので、宿泊施設は都合上や

- 収容人数の問題で一緒でも仕方がないとしても食事会場は、競泳・水球を分けていただきましたかった。(水泳)
- ・総合開会式では、関係者(役員、参加生徒、現地スタッフ)の全てにおいてしっかりと感染症対策ができていたと思います。各競技において、陽性者、濃厚接触者がかなり出て、辞退されたチーム、選手が多くの競技で出たことが残念でした。来年の新型コロナの状況は不明ですが、更なる対策を行い、辞退者や辞退チームが出ない大会を切望しています。
  - ・今回は、感染が極端に拡大している状況下での開催となりプログラムや、運営形式を特別なものとし、リレー種目を割愛することで参加人数を1000人程度削減して行った。場内の密を減らす策を講じ何とか運営できたが、昨年のように中止よりまし、といった極論の中で例年の運営形式なら参加できていたはずの選手が参加できずに引退していった事実も残り、非常に残念であった。そしてリレー種目が割愛されたことによって得点取得の状況も随分変化し、総合成績にもそれなりの影を落とした。(水泳・競泳)
  - ・会場では、事前に登録したチーム関係者のみ、当日確認の上、入場が許可された。人の動線なども工夫がされていました。ご尽力をいただいた役員や補助員の方々に感謝をします。コロナ+大雨の対応もあり、予想を超える準備に感謝申し上げます。(ホッケー)
  - ・競技場内でのIDチェックがなされていないのが残念でした。(陸上競技)
  - ・前例のないコロナ禍での大会であったが、スマートフォンによる入場許可証の発行や入場のたびに体温チェック、昼食会場の指定など、新型コロナウイルス感染拡大防止策が施されていた。(ソフトテニス)
  - ・競技会場、宿泊ホテル、感染症対策がしっかりされていた。柔道競技においてもコロナ対応を考えて準備を進めていたが、最終段階にきて対応が2転3転して出場出来なかった学校も、出来た学校も後味の悪い印象が残った。(柔道)
  - ・今回の大会運営が、今後のモデルになると思います。大会本部や試合会場、並びに宿舍など、対策・対応に関してマニュアルから現実の対応まで細かく気を配っていただき、安心して試合に臨めました。本校は試合後も全員問題なく過ごせています。大変な中での運営、ありがとうございました。コロナの点においても問題はなかったように感じます。(弓道)
  - ・厳しい規定で致し方ない面はあるが、できるだけ参加辞退がでないように柔軟に対応できるしくみを作った欲しかった。(登山)
  - ・選手村の配置で密を避けるようお願い致します。(自転車競技)
  - ・体育館入り口で、1人ひとりへ消毒ボトルから手に吹きかけて下さいました。生徒が急ぐあまり不十分にならないか心配でしたが、毎回申し訳ないくらい徹底していましたので、しっかり消毒でき安心できました。(なぎなた)
  - ・ガイドラインに基づいた大会運営を厳密にされており、安心して大会に参加することができた。(陸上)
  - ・コロナ禍で大変な中、徹底した感染症対策を含め、大会を開催していただきありがとうございました。(体操)
  - ・徹底した対策を取られていて、最大限密にならないよう配慮・工夫が施されており安心して過ごすことができました。入場制限していくのに係員の方々のチェックが大変な労力を要することだったと思いますが完璧にされており、頭が下がる思いでした。本当にお疲れさまでした。(水泳)
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を行わなければならない状況の中、新潟県高体連の先生方並びに全国高体連の先生方は本当に大変だったと感じています。
- 「ご苦労様でした」と労いの声をお掛けしたいと思います。(バスケットボール)
- ・この厳しい状況の折り、大会運営における感染対策には充分配慮され、会場での先生方も大変気を遣っておられるのがよく分かりました。一部、不幸にも感染により辞退されたチームもありましたが、“このような中でも何とか高校生の日頃の努力の表現の場を確保していきたい”と地域大会を運営している我々にとって、そのノウハウは非常に参考になり、勇気づけられる大会でした。(サッカー)
  - ・やむを得ないが、PCR検査が煩雑であった。会場内の温度が暑かった。(柔道)
  - ・大変な状況下での大会運営、本当にお疲れさまでした。メイン会場も周囲に目隠しシートを配置し、無観客を徹底されていましたし(どうしても、入ってこようとする保護者?はいるものですから一定仕方がないかと思えます)消毒液付きIDタグ(健康チェック済)も啓発的でよかったです。(テニス)
  - ・とても大変な状況の中、ありがとうございました。観戦場所が少なく、どうしても通路が密になっていたことが気になりましたが、道路を封鎖し、限られた入退場の場所で毎回検温・消毒を行うなど徹底されていて良か

ったと思います。団体戦での待機選手のマスク着用など、熱中症予防との兼ね合いもとても難しいなと感じました。応援についても、きちんと拍手のみでやっている学校と大声を出してベンチから立ち上がって応援している学校があって少し平等性を欠いていたように思います（奈良県もご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした）。ただ、団体戦の日よりも個人戦の日には応援の声についての注意が迅速になっており、改善されておりました。今回のインターハイで、応援の方法や試合中の選手のかげ声などは都道府県によってばらつきがあることが鮮明に分かりました。奈良県でも感染症対策を行いながら大会等を実施していますが、今回のインターハイを参考にさせていただき、より感染症対策を徹底した大会運営に努めていこうと思います。（ソフトテニス）

- ・競技会場等での対策はしっかりできていたと思います。（弓道）
- ・前年度の中止を受けて、日程短縮や体育館泊など最初からコロナ対応の大会運営を予定し、仮に自体が収束したとしても運営を変えない方針で準備していた。本来の大会のやり方よりも、何としても今年は安全に実施することを目指していたので、まずは会場地のみ皆さんの取り組みに感謝したい。来年度の状況は不明なものの、状況に柔軟に対応できるような大会運営を専門部としても準備していきたい。コロナ禍での登山活動、インターハイ登山の運営については、競技団体の医科学委員会とも連携をとり、今年の実施を踏まえて次年度以降の検討材料としたい。（登山）
- ・事前に一般観客並びに選手保護者は入場不可との通知があったが、受付で手続きをすれば一部保護者が入場していた。ブロックでは無観客実施の通知を徹底しているところもあったので、指導者と保護者の信頼関係が崩れる場合も想定される。実行委員会には猛省を促したいと思います。（カヌー）
- ・予選グループ戦が終わり、敗者戦までの練習会場で、スマホによる入館許可証の掲示が求められた。試合会場で検温を終え、入館証の確認を済ませ、IDも交付されているにもかかわらず、入館証の再掲示は不要であり、改善が必要。練習会場担当の先生が臨機応変に対応していただいたので実害はなかったが、試合間の練習会場での時間設定がタイトであったため、不必要な確認は時間のロスに繋がる。（バレーボール）
- ・大変な中、運営ありがとうございました。（自転車）
- ・大変な状況の中、開催していただき感謝しております。本当にありがとうございました。（ウエイトリフティング）
- ・練習会場や競技会場などで入場規制や管理、タイムスケジュールを組んでの運営を行っていただきました。ありがとうございました。（フェンシング）
- ・入場もスムーズにすることができ、会場の内外ともに蜜の場面が少なく大変助かりました。ありがとうございました。（空手道）
- ・大会前からの健康調査、会場に入館する際の健康チェック等も管理されており、コロナ対策も徹底してくださったので、安心して選手たちも大会に参加することができました。（なぎなた）
- ・徹底した事前準備に加え、当日の臨機応変な対応をいただいたおかげで、感染者を出さない大会開催が叶いました。本当にありがとうございました。（少林寺）
- ・長野県実行員会の皆さんはしっかりしていて、手指消毒や健康管理チェック等で感染症対策を実施していた。プールに入る人数を制限したり、食事会場を設けたり、生徒や引率教員のことを考えて実施してくれていたもので、よかったと思う。（水泳）
- ・感染予防対策が行き届いており、安心して競技に取り組みました。（相撲）
- ・今回のインターハイは、すべての場所で考えるコロナ対策を行っているように感じました。柔道競技は、選手のPCR検査に始まり、すべての役員にIDカードの発行による入場規制、当日の体温検査、2週間分の健康調査、消毒・換気の徹底など、厳格に行われていたように感じました。（柔道）
- ・密にならないように徹底した対策をなされており安心安全で競技に参加することが出来ました。ただ競技が終わればすぐに会場より退場しなければならないのは理解できますが、もう少し猶予のある時間をいただけたら良かったなと思いました。生徒に会場でお土産を買わせてあげる時間が少なく可哀想におもいました。（剣道）
- ・他県との配宿で、風呂トイレ共同が気になったが、地域の施設状況を踏まえると仕方なかったように思う。このような社会状況の中、大会を開催して頂き、感謝しています。（ウエイトリフティング）
- ・細かなところまで感染防止対策を講じていただきありがとうございます。県外への移動、他県からの参加者との接触等、不安な点が多くありましたが、おかげさまで安心して会場に滞在することができました。

入場ゲートを1カ所に絞り、ゲート通過後複数箇所ですムーズにかつ丁寧に体調チェックをしている点や、入場パスが来場日と健康状態が一目でわかるように工夫されている点など、とても参考になりました。インターハイでの感染の有無等があったかは存じておりませんが、全国的に感染者が広まっていることから、実行委員会の方々もまだまだ不安が続いているかと思います。お体に気をつけ、がんばってください。ありがとうございました（テニス）。

- ・「応援は拍手のみ」という形のはずが、普通に発声し、応援している学校が複数いました（監督、選手両方）。監督も自分の学校の選手に注意する事もなく、試合が流れていたのも、教育的な面でも良くないと感じました。（試合を見ている選手らに勝てば何しても良い！という悪い影響を与えるのでは？と感じました。）実際、声を出して応援している学校が勝ち、ルールを守っている学校が負けた場面も見うけられたので、ルールを統一するべきだと改めて思いました。（ソフトテニス）
- ・各競技とも予防対策は徹底して行われていると考えられるため、最終的には我々個人が感染予防の意識を高く持って行動するしかないと思います。（ホッケー）
- ・店舗を貸しきりにした夕食であったが、多数の学校が殺到して、食事会場が密の状態になっていた。（登山）
- ・コロナウィルス感染拡大防止のための対策がしっかりなされており、安心した大会となった。（ヨット）
- ・PCR検査が急であったので手間取った学校があった。また、配送業者が途中で変更になるなど、主催者側も大変であったと思う。感染症対策については万全であったと思います。（空手道）
- ・会場の予防対策は大変丁寧で安心しました。段取りや運営も大変スムーズで困ることはありませんでした。ただ、各地方ブロックでの席のスペースの混雑状況に差があり、一日目は空席を探すのに苦労しました。（近畿ブロック）もう少し余裕を持った配置にいただけると助かります。今大会が、新型コロナウイルス感染症への対策に多大なるご尽力をいただきました多く皆様方のおかげで開催してもらえまして選手共々感謝しています。本当にありがとうございました。種目が複数ある学校は引率の都合上1番初めの種目に合わせて来るようになっていたので、予選日や準決勝では非常に会場が混雑しているような時があった。みんなが意識高くコロナ感染症対策に取り組んでくれており、安心して大会に出場できました。ありがとうございました。（少林寺拳法）
- ・2週間前の健康チェック、PCR検査陰性証明書、参加承諾書等、作成する書類が大変多い。また、業務多忙な中、感染症対策に留意しながら全国規模の大会実施することは、運営側に多大な負担を掛けることとなります。さらに、感染症対策を行っても100%予防できる補償はありませんので、大会に関わる方々の不安は払拭できません。もし大会期間中に濃厚接触者や感染者が出た場合、運営側の業務量はさらに膨大となり、責任だけが重くのしかかっているのが現状であります。今後大会を維持していくためにも、大会規模の縮小、運営に関わる人員の確保、増員、配偶面等も考えていただければと思います。（ボクシング）
- ・大会役員の方、サポートに入る高校生の皆様のサポートのおかげで大会に参加させていただいたことに感謝申し上げます。コロナ禍の中、感染リスクもおいながら尽力いただきありがとうございました。感染対策をしっかりしたうえで、導線の案内や会場入りのサポートをしていただき本当に助かりました。
- ・柔道専門部は、事前のPCR検査で「陽性」または「感染の疑いあり」と判明した場合は出場できないことになっていたが、実際に8チーム50名の参加できない選手があった。該当校の専門委員長や監督は、どうか大会に参加させたい思いで、「感染の疑いあり」の後に、再度検査を受け、それが「陰性」となり、大会実行委員会に交渉した県もあったらしい。その後、大会実行委員会や全国高体連柔道専門部は、全日本柔道連盟にも相談したらしい。その結果、参加できるようになった選手もいたが、やはり断られた選手もいた、とのこと。大会関係者としては、安心安全を第一条件として開催したい。参加できなくなった県からは、一生に一度のインターハイにぜひ参加させたい。2つの思いは交錯せず、この件だけで、専門委員長会議は1時間半となった。
- ・高校生にとって最大の目標であるインターハイが開催され、最後まで実施できたことに感謝しかありません。
- ・他にも様々な意見があった。意見の多くは、前例のない中で全国大会の開催において、開催地自治体、実行委員会、各関係者への感謝、安心・安全な大会開催への感謝の言葉が多く見られた。上記の柔道の内容については、全国の会議でも報告された内容である。専門部の意見は当然のことであるとも思われるが、大会における感染予防対策、クラスターの防止等を考えると、大会参加に関する一線は必要である。県内における大会も同様であるが、大会参加に関して、どこまで柔軟な対応ができるかも課題である。
- ・北信越の皆様におかれては、コロナ禍での大会開催に向けて、本当に気を遣われたこととお察しします。初め

てのことで、総合開会式およびすべての競技において、様々な観点から協議をされ、並々ならぬご苦勞をされたことと思います。今回のコロナ禍での開催が、来年度以降のインターハイに向けて大いに参考になるものと思いますが、来年度はコロナが終息し、通常開催ができることを祈るばかりです。北信越の皆様、大変お世話になりありがとうございました。まだ残務整理があるかと思いますが、来年度への引継ぎ等をよろしくお願いいたします。

- ・新型コロナウイルス感染症ガイドラインが各競技で出されていたので、安心できた。
- ・会場でのコロナ感染症対策は、万全で、安心して競技に臨めた。
- ・体温チェック等、厳しくされていた競技団体と、少し曖昧な競技団体と差があったようだ。
- ・今回の大会は、無観客という事であったが、屋外の施設などは、外から見ることができ、観客が集まっていたので、少し心配であった。
- ・各場所でしっかりと感染対策がなされており、感謝しております。お世話になりました。ありがとうございました。
- ・会場や宿舎でのコロナ対策はしっかりされていて安心でした。右射ちと左射ちが向かい合わせになっているのが気に係りました。
- ・朝食でのバイキングでは、ビニール手袋が用意されるなど対策がされていたのは良かった。
- ・提出するプリントも簡潔で対応しやすかった。検温等の対応も、しっかりして頂いた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中での開催、ありがとうございました。開催中、開催後の新型コロナウイルス感染者の増加を見ると、実施の可否について非常に難しい判断だったと思います。今回の企画・運営の中で、省けるもの、省けないもの、経費が掛かり過ぎていた点などが表面化した部分もあると思うので、今後に生かしてほしい。とにかく、新型コロナウイルスの早期の収束を祈ります。
- ・主催者で対策を立て取り組まれていたので、それに対して特に問題はなかったのではないかと思います。男女わかれての開催ということもあり、また無観客で行われることも考えると、本当に専門委員長会議が必要であったかという思いはあります。昨年と同様、書面での承認、またはオンラインでもよかったのではないかと思います。
- ・2食希望であったが、朝食のみとなった。夕食を外食しなければならないことに感染リスクを感じた。
- ・高体連と高野連のガイドラインが違いすぎるのでは？高野連は個別感染か集団感染かを重視しており、感染者が出て甲子園へ出場していたチームがいたが、高体連は問答無用でチーム辞退となっていたのは同じ高校生のスポーツでも格差がありすぎるのではないかと思う。
- ・コロナ陽性が他県で出ており、それに対する対応についてありがとうございました。しかし、大会出場校への連絡に不備があり、中止になるのか時間を遅らせて始めるのか等他県の監督とのやり取りで情報を知ることとなった。
- ・会場、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症対策はしっかり行われていた。無観客開催でのお願いをされているにもかかわらず、生徒関係者(保護者)が来場しており、同県の者としてはかなり残念な思いをした。私に強力な発言力があるわけではないですが、委員長校としてもっと周知徹底するべきだった。
- ・参加の基準を変えるべきではなかったと思います。個人戦で選手につくことができないことがあったので、その点は改善の余地があると思います。
- ・とても良く対応されていたと感じました。
- ・関係者以外は入場できないように徹底されていたと思います。ありがとうございました。
- ・今回のようにスマホを使つての認証、入場チェックは時代にあっているように思われる。ただ100%ではなく、不正に入場している生徒もいたようだ。
- ・会場内の感染症対策は素晴らしいものでした。徹底したIDコントロールや導線の厳密、食事場所の指定徹底・・・安全に開催することができ、関係者に感謝申し上げます。
- ・宿舎によってはコロナウイルス感染症防止できてない宿舎あり、宿泊した学校で抗議し改善する。大会が無観客での対応だったが徹底できてなかった。
- ・他チームが話を食べていて、すこし不快な気持ちになった。黙食の貼紙がほしい。
- ・多くの競技で感染症対策が行き届いており、安心して競技に専念できた(多数)。
- ・コロナ禍でJRが間引き運行となっており、京都から福井間において密な状況があり不安であった。元の便数に

戻していただき良かった

- ・長野県実行委員会の皆さんは大変だったと思いますが、コロナ対策や会場収容人数のコントロールなど、とてもよく考えられていた方法だったと思います。(水泳)
- ・ホテルも体育館、競技会場、全てコロナウイルス感染症の対策がされており、不安なく生活できた。(新体操女子)
- ・開催地のスタッフの皆さんに感染対策に対する高い意識があった。ホテル施設に関しては満足であるが、温泉施設を利用する一般客が多かったため、少し不安を感じた。(バレーボール)
- ・コロナ渦で大会自体の開催が危ぶまれる中、無観客での実施だったが、高校最後の大舞台でプレーできたことに感謝している。また運営側の徹底した管理のもと、安心して試合に臨める環境が用意されていた。ライブ配信や勝利チームへのインタビュー等も実施され、本当に良かったと思う。(ソフトボール)
- ・事前のPCR検査手続きの事務作業と検査作業の煩雑さにうんざりした。HELPO アプリというものを使用し、唾液PCR検査+配送料+HELPO 基本サービス+HELPO PCR検査データ管理ライセンス+検査構築運用サポート費用として一人約六千円の負担を強いられた。インターハイでは一部の競技のみ事前PCR検査が実施されたと聞いており、他競技との整合性がとられていない。PCR検査を実施するのであれば他競技も全て実施すべきではないか。また、大会前だけでなく、大会終了後3日経過したあとも実施すべきではないかと考える。当競技の事前PCR検査では、①「陽性疑い」、②「判定不可能(唾液量が不足し検査不可能)」、③「陰性」の3パターンの結果で判断されるようになっていた。出場できるのは③のみで、①と②はその後、いかなる個人の検査結果があっても試合には出場できませんという全日本柔道連盟・医科学委員会・感染症対策委員会からの通知が出ていたにも関わらず、信頼できる医療機関で陰性の診断が得られているのであれば教育的配慮をもって出場できるように変更されていた。事前通知の取り決めから基準がぶれたため、監督会議が紛糾し、長時間に及んだ。団体・個人とも出場できない学校・選手が出てきて、大会終了後もクラスターが発生するなどしたため、大会の前と後も実施する必要があると考える。(柔道)
- ・競技会場においては対策が徹底できていたと思う。宿舎において、徹底されていない場面があり不安・不快に感じた。一般客との同宿であり、一概には言えないが、社会一般論としてきちんとした対応をお願いしたい。(剣道)
- ・人数分散対策として入館時間が決められていたが、時間よりも早く来場して「コロナにならなくても、熱中症になるから入れてくれ」といったチームがあり入館が早められたりした。他のチームから苦情が出ていた。(弓道)
- ・様々な対応をされていて安心であったが、無観客は寂しかった。(ウエイトリフティング)
- ・練習会場の体育館が全6コートに対して、全コート使用になっており、多数の学校が来ていたため、密になっていた。また、室温・湿度もかなりの高さになっていた。
- ・動線など工夫されており、密にならない大会運営ができていたのではないかと思います。(ホッケー)
- ・カヌー競技に出場した3年生にとっては、本大会が最初で最後のインターハイとなった。待ち待った全国大会であり、非常に貴重な経験ができた。今大会が開催できたことに大変感謝している。(カヌー)
- ・毎朝、会場入り口のところでかなり密になっていたように思う。入り口付近で整列・誘導があればよかった。(フェンシング)
- ・大会会場、宿舎、その他の場所で、感染症対策がしっかりできていたので、安心して参加できた。
- ・水泳会場の練習時間が厳しく分けられていたので、生徒が希望する時間には練習が7できなかつた。
- ・1つのホテルに多くのチームが入っていたので、食事の際の感染対策が十分でなかった。
- ・食事内容や対応、部屋、感染症対策などはホテル任せで、配宿センターはチェックしていないのではないかと。改善をお願いしても、聞き入れてもらえなかった。
- ・今年度は、感染症拡大が開催時期と重なったため、運営は大変ご苦労をされたことと思います。
- ・感染者の参加の取扱い(参加の可否)については今後、ルール作りが必要であると感じた。濃厚接触者がチーム内にいた場合など、接触者以外の参加ができるだけ可能となるよう検討の必要があるのではないかと。
- ・原則、無観客での開催となったが、感染状況によっては観客の受け入れのルール作りも必要ではないかと。
- ・変異株が猛威を振るう中、感染症対策等大変な苦労があったことと存じます。棄権を判断した学校・生徒のことを思うと胸が締め付けられますが、判断基準等をあらかじめ整え、各学校が賢明な判断することで安心安全

な大会につながったと思います。今後しばらくは、コロナの影響が続くと予想されます。大会後の参加者における感染状況（大会を感染契機と考えられる事案）についても検証する必要があると考えます。大変厳しい状況の中、大会開催に向けご尽力賜りましたすべての関係者の方々へ、心よりお礼申し上げます。

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため試合見学や観光することもできなかったのも、あまりインターハイに出場したという実感を味わえなかった。ただ、昨年と違い、制限はあったものの大会が行われたことは有難くとても感謝しています。（ハンドボール）
- ・運営は大変だったと思うが、運営役員間で共通理解ができておらず、試合当日の受付で振り回された。（書類提出のタイミング、検温場所、入場口等）（サッカー）
- ・急な対応が多く、運営の先生方も本当に大変だったと思います。状況が日々変化するなかで、しっかりと対応していただきました。当初は、個人競技も開会式に参加予定だったので、それに合わせて旅程を組んでいました。途中で個人競技の選手は、参加できなくなり選手にとっては少し寂しいようでした。（空手道）
- ・大会本番での会場において各チームに担当者がついてくださったのはとても助かりました。（バスケットボール男子）
- ・食事の時間やミーティング等も他団体と重なる事なく、安心して過ごすことができた。（フェンシング）
- ・コロナ感染予防の観点から外出を制限しホテルの中で過ごそうと考えていたが、夕食対応無しのホテルだったので、外出せざるを得なかった。また、個室で食事がとれる店を探すのにかなり苦勞した。（バスケットボール女子）
- ・剣道競技においては3日目の男子団体の入場が遅れたと聞いています。その前日に男子個人で会場入りしているため、連絡が何もなく不安に思う場面がありました。接触をしていないのか、単純に連絡が無いのか分からず生徒や保護者への連絡もできませんでした。最終的に噂話程度でしか真相は聞けず、あやふやになってしまったため、何かしらの形で一報いただけたらと思いました。それ以外に関しては通路の一方通行化、手指消毒や十分すぎるほどの監督席の消毒など例年以上に注意を払わなければいけない状況で清々しく試合に臨めました。本当にありがとうございました。（剣道）
- ・感染症対策は良くなされていたと感じた。ただ、大会が非常に暑い時期であったので、マスクの着用については難しい部分もあったように感じた。（陸上競技）
- ・ホテルでの感染対策は良かったが、夕食がなく外に食べに行かなければいけなかったのも、感染リスクが非常に心配であった。（柔道）
- ・地元の高校生が熱心に働いており感心した。スマホを使ったシステムも使いやすくよかった。（ソフトテニス）
- ・試合会場は万全の対策がなされており、すばらしかった。（バレーボール）
- ・会場はしっかりとした対応を取られていたが、顧問やコーチの目が届かないところがあり、そこでの感染リスクが怖かった。（ヨット）
- ・各県待機用テントはありがたかったが、幅が狭く密になっていた。酷暑での試合となるので休養できるスペース分は確保していただきたい。（ソフトテニス）
- ・開催県の先生方、生徒さん達は大変だったでしょうが、様々な感染防止対策（入場時間制限、練習時間の設定など）がなされており良かったと思います。（弓道）
- ・初めての全国大会出場で、例年と違い感染防止対策もあったため不安も大きかった。また、競技の説明は、文章だけの説明でなく、会場の見取り図や経路図、控え場所等も決定次第HPに公開していただけると親切だと感じた。（弓道）
- ・対策はされていたが緩い部分もみられた。特に入場口や再入場の際のチェックが甘いと感じた。（卓球）
- ・緊急事態宣言が発出されている県もあり、毎日感染者数が最多を更新している中での大会で、大きな不安があった。（ヨット）
- ・大会会場だけでなく練習会場でも管理がされており、他のチームと接触が少なく、稽古が出来て良かった。大変な時期に開催して頂きありがとうございました。（剣道）
- ・食事するスペースは全チーム同じ会場で、コロナ対策に向けたアクリル板等はなく、テーブルも接近していた。また、席は隣同士かつ向かい合って食べなければならなかった。本県は夕食のみ他チームと違う時間に設定してもらおうようお願いはしたが、朝食は移動に伴う時間調整が難しく、気を遣う形となった。今後のコロナ次第であるが、コロナ感染対策を講じる形式を是非とって欲しい。（登山）

- ・通常であれば特に問題はない素晴らしい宿泊施設であったが、コロナ禍での大会での宿泊としては、少々リスクが高かったように感じる。引率者が同部屋、生徒たちも6人同部屋であったことがその理由である。(体操)
- ・コロナ禍での大会でしたが、感染症対策も十分に行われ、丁寧な運営が行われていたと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大と全国的な豪雨の中で開催されたが、大会運営に携わっていただいた生徒の皆さんや役員の方々の心温まる対応には、感謝しかありません。
- ・コロナ禍の中での大会企画・運営、ご苦労も計り知れないものがあったと思います。大会関係者のすべての皆様に感謝いたします。また、本県の選手のほとんどが万全の感染対策の中で十分力を発揮し大会を終えることができたことに重ねて感謝いたします。
- ・コロナ禍、更にはオリンピック開催年ということで、企画・運営に大変苦慮されたと思います。本当にお疲れ様でした。様々な制限がある中、例年以上の大会を開催しようとご尽力いただいたことに感謝しています。大変ありがとうございました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大、大会途中での参加辞退校の増加、大雨災害の警報などが重なり、総合開会式の開催はもとより、全国総体開催にもかなりの葛藤に苛まれたと思います。それでも実施していただいたことに大変感謝申し上げます。
- ・たった3年間しかない高校生活の中で、その集大成を発揮できる場を補償していただけたことに感謝しています。県内・九州を突破し全国の夢の舞台に立てた爽やかな生徒の姿(一喜一憂を含め)から、教育活動の一環としての高体連活動の成果を感じます。厳しい世論・感染状況の中、開催ご苦労様でした。本当にありがとうございました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、大会を実施していただいた福井県実行委員会のみなさまには感謝している。選手にとって充実した大会となった。(フェンシング)
- ・大会を開催していただいただけでありがたかった。辞退が複数校あり、3年生の気持ちを考えると生徒も顧問も無念であろうと思った。(空手道)
- ・空手道競技は役員、生徒ともによく動いていた。無事に大会が開催されたことに感謝したい。(空手道)
- ・検温・消毒などの感染症対策の中で、観客席に制限をかけなかった(1席を空けて座る等を徹底する)ことが気になった。(フェンシング)
- ・開場時に入り口付近が大変混雑した。勤務の関係等で難しいかもしれないが、事前に外で検温したり、チェックシートを回収したりすれば、入場がスムーズだった可能性が高い。(フェンシング)
- ・各会場とも厳重に対策されていた。(バドミントン)
- ・入口での検温、毎日提出する体調チェック票、入口や各所の消毒液の設置等対策がしっかり取られていた。当該チームのチーム関係者のみの観戦で入れ替えを行っていたが、係役員のテキパキとした指示によりスムーズに行っていた。(バスケットボール)
- ・コロナ感染対策を徹底した上での開催は大変だったと思います。運営の皆様方に感謝申し上げます。(バスケットボール)
- ・コロナ禍のなかでの開催のため、特に選手は最低でも二人部屋にするなどの感染対策が必要だったと思いますが、ある競技では大部屋(6名)となっており、また、他県の生徒との同部屋となるなど、感染リスクが高まる対応であった。今回は視察等含め、無観客のため、部屋数に余裕があったと思います。
- ・空路の予約等に伴い、無観客開催等早めの判断と周知をしてほしかった。
- ・各都道府県高体連等への周知や調整なく、PCR検査を協会が指定した業者で強制実施する競技があった。また、その費用負担についての対応に苦慮した。なお、本県においては県からの補助で大会前後3日以内にPCR検査を義務付けており、協会が指定した業者と県内の業者との検査費用について、3倍の負担であった。